

3章

印刷操作の前に

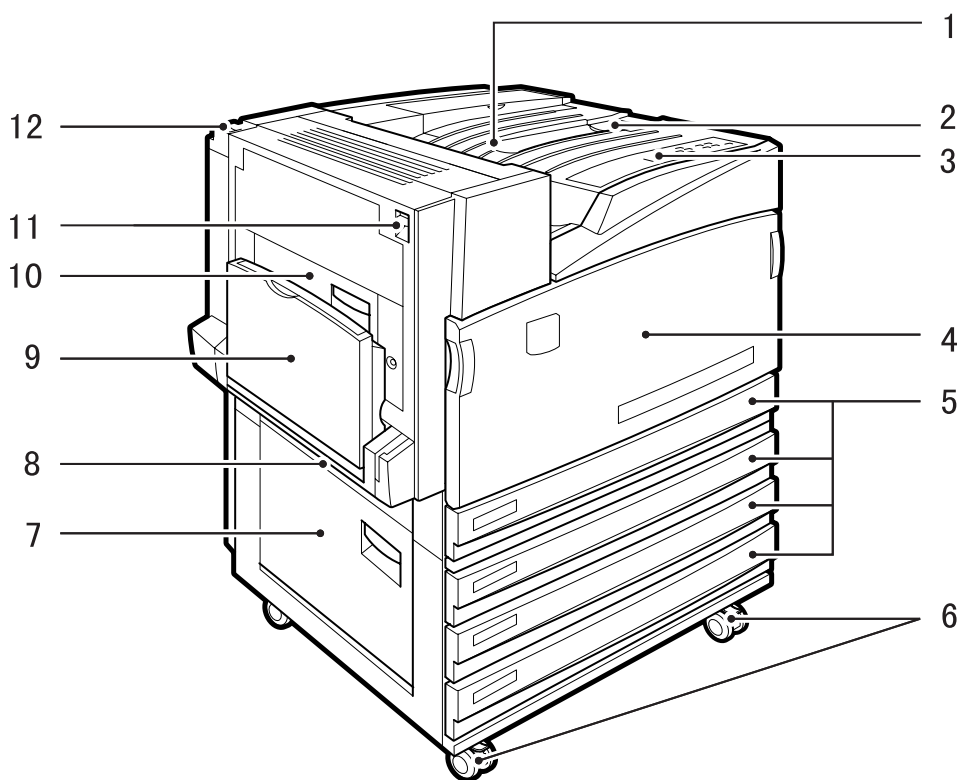
3.1	各部の名称と働き	48
3.1.1	本体	48
3.1.2	操作パネル	53
3.1.3	ディスプレイの表示について	54
3.2	電源を入れる/切る	56
3.2.1	電源を入れる	56
3.2.2	電源を切る	58
3.3	節電機能を利用する	59
3.3.1	節電機能を設定する	59
3.3.2	節電状態を解除する	60

3.1 各部の名称と働き

3.1.1 本体

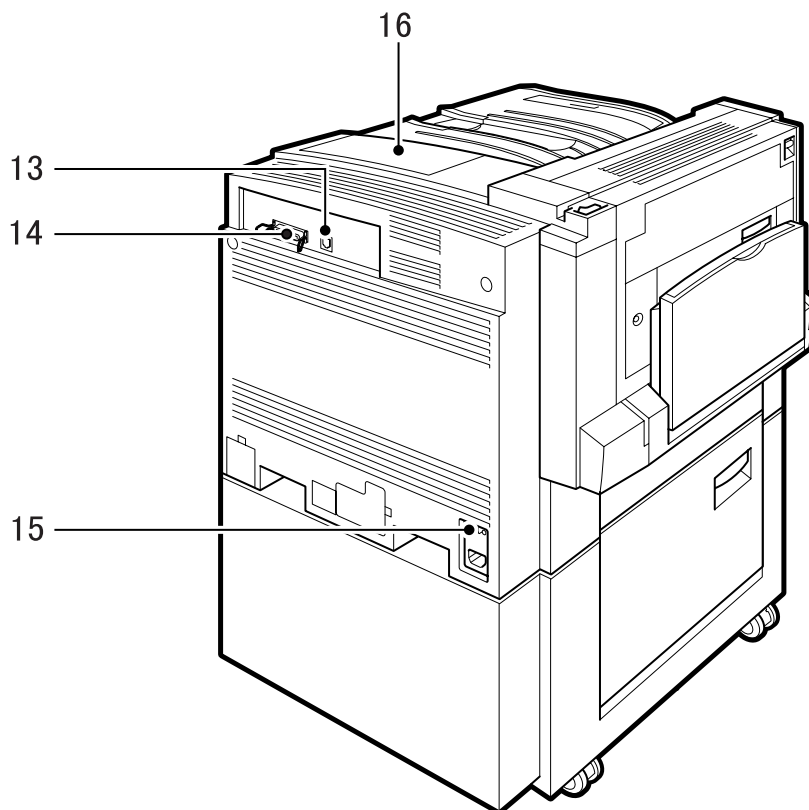
●●● 本体 + 3トレイキャビネットモデル

前面



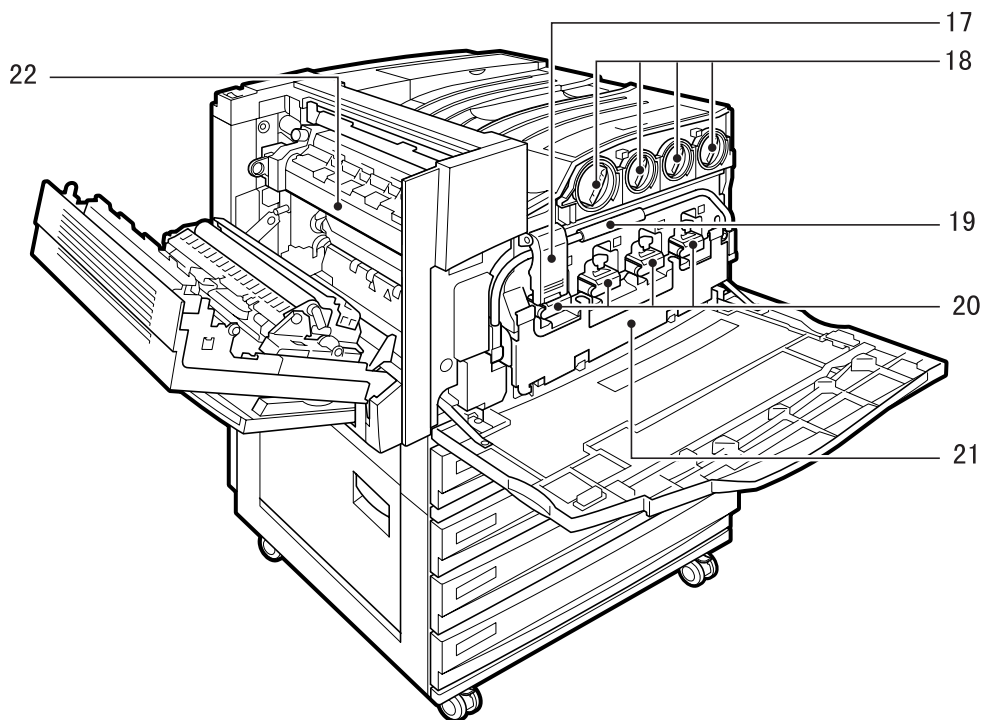
番号	名 称	働 き
1	排出トレイ	印刷されたものが印刷面を下にして、ここに排出されます。
2	用紙止め	印刷するときに立てて使用します。
3	操作パネル	ボタン操作部、および機械の部位の番号が記された表示部があります。
4	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
5	用紙トレイ1、2、3、4	ここに用紙をセットします。トレイの段数は、モデルによって異なります。
6	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
7	R1カバー	2段以上のトレイがある場合で、紙づまりを処置するときに開けます。
8	R2カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
9	用紙トレイ5(手差し)	用紙トレイ1、2、3、4にセットできない用紙(OHPフィルムや、厚紙などの特殊用紙)を印刷するときに使用します。
10	R3カバー	両面機の場合、紙づまりを処置するときに開けます。

背面



番号	名称	働き
11	R4カバー	紙づまりや、消耗品の交換時に開けます。
12	電源スイッチ	機械の電源を入/切するスイッチです。
13	10Base-T/100Base-TX コネクター	10Base-T/100Base-TX Ethernetインターフェイスケーブルを接続 します。
14	パラレルインターフェイス コネクター	セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、ホスト装 置と接続します。
15	ブレーカースイッチ	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。
16	プリンターオプション用カバー	オプションの内蔵増設ハードディスク装置や128MB増設メモリーを装 着するときに、開けます。

内部

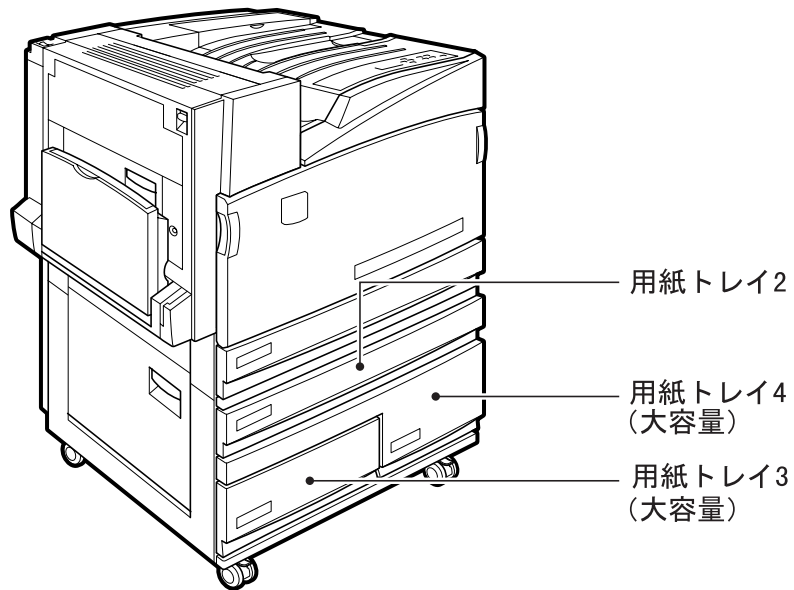


番号	名称	働き
17	ストッパー	ハンドルを固定します。
18	トナーカートリッジ	ブラック(K)、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の4色のトナー(画像形成剤)が入っています。
19	ハンドル	ドラムカートリッジを交換するときに、ストッパーを解除しておろします。
20	ドラムカートリッジ (A1、A2、A3、A4)	感光体がセットされています。 プリンターに向かって左から、A1、A2、A3、A4です。
21	トナー回収ボトルカバー	使用済みのトナーを回収するトナー回収ボトル(B)が奥に入っています。トナー回収ボトルを交換するときに開けます。
22	フューザーカートリッジ(E)	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。

△注意 「高温注意」を促すラベルで指示されている箇所には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

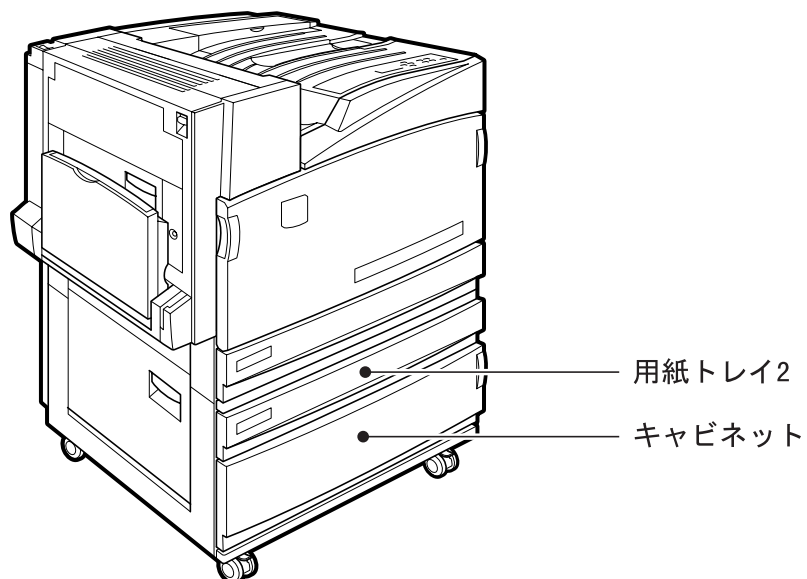
●●● 本体 + 大容量給紙キャビネットモデル

前面

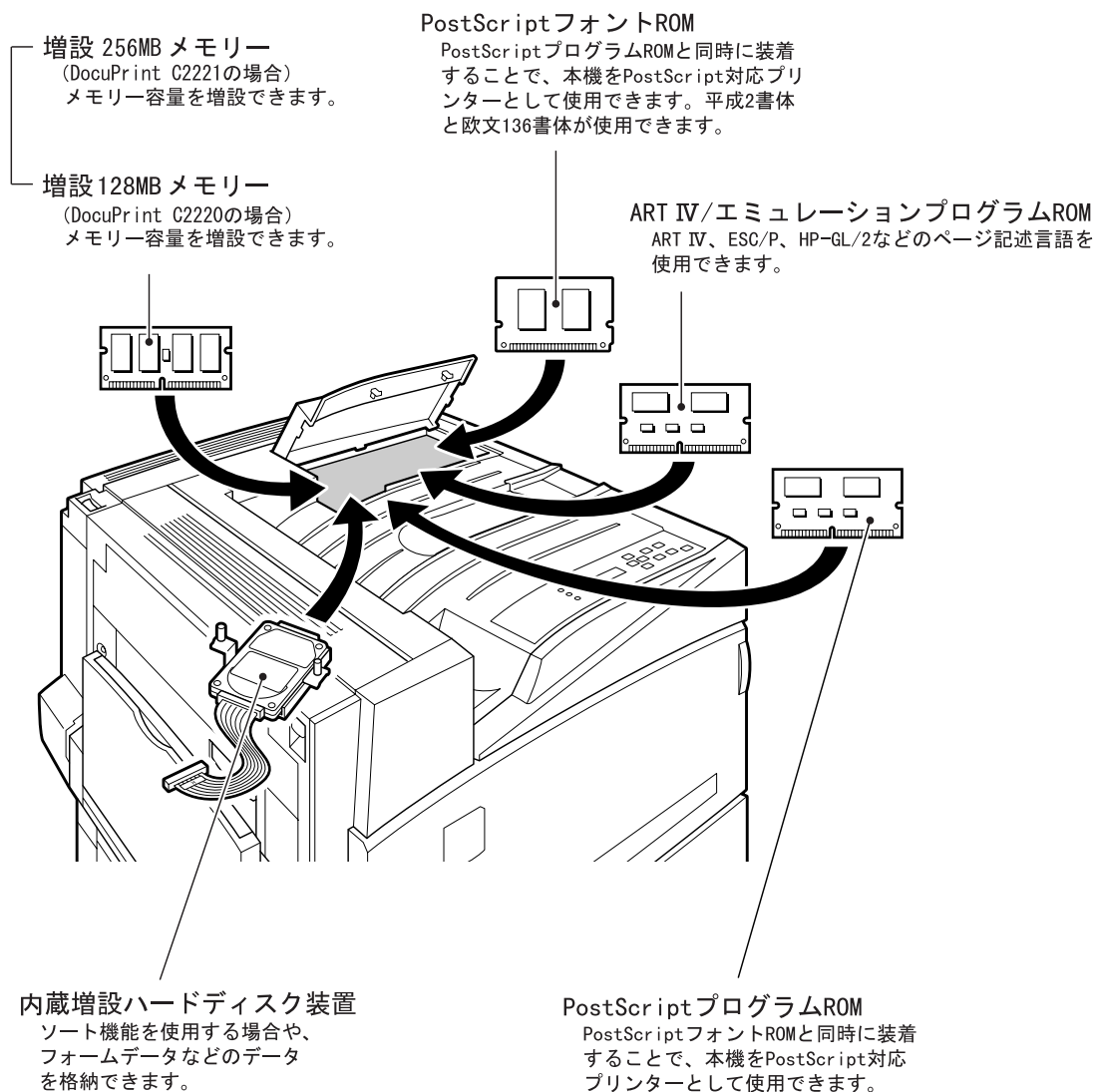


●●● 本体 + 1トレイキャビネットモデル

前面



●● プリンターオプション製品



補足

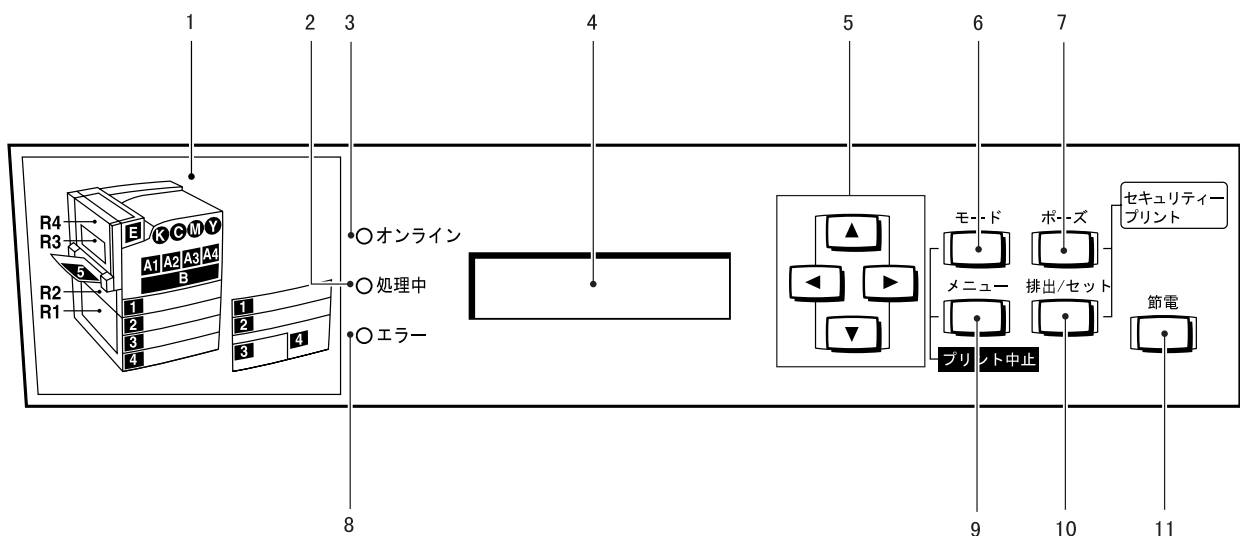
- PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に装着できません。
- 内蔵増設ハードディスク装置、PostScript®ソフトウェアキット、またはART /エミュレーションキットを装着する場合は、DocuPrint C2220の場合は増設128MBメモリー、DocuPrint C2221の場合は増設256MBメモリーが必要です。

3.1.2 操作パネル

操作パネルについて説明します。

参照

ディスプレイの表示については、「3.1.3 ディスプレイの表示について (P.54) を参照してください。



番号	名称	働き
1	表示部	エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるカバーや用紙トレイの位置をここで確認します。
2	処理中ランプ	ランプで印刷の処理状況を表します。
3	オンラインランプ	点灯中は、クライアントからのデータ受信が可能な状態です。
4	ディスプレイ	設定項目、プリンターの状態、メッセージなどを表示します。
5	上下左右ボタン	メニュー、項目、候補値間を移行します。本書中では、 で表します。
6	モードボタン	モードメニュー操作に移行します。本書中では、 で表します。
7	ポーズボタン	ポーズ状態に移行します。ポーズ中は、データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、ポーズ状態が解除されます。本書中では、 で表します。
8	エラーランプ	ランプでプリンターの異常を表します。
9	メニューボタン	共通メニューに移行します。本書中では、 で表します。
10	排出/セットボタン	メニューの候補値の設定を行います。レポート/リストを印刷するときにも使用します。本書中では で表します。
11	節電ボタン	節電中に緑色に点灯します。押すと節電状態を解除します。本書中では で表します。

3.1.3 ディスプレイの表示について

プリンターの状態や設定状態を表すメッセージが、ディスプレイに表示されます。

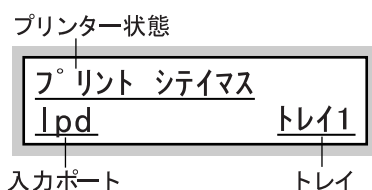
補足

オプションの装着の有無、設定の状態、機種の違いによって表示されないメッセージがあります。

●●● プリント画面

印刷しているときやデータを待っている状態では、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面は、プリンターの状態や、実行中のデータの処理状態を表します。

lpdポートからの印刷データを受け、用紙トレイ1の用紙に印刷しているときには、ディスプレイには次のようなメッセージが表示されます。



プリンター状態

プリンターの状態を表します。【オマチクダサイ】/【プリントシティマス】/【プリントデキマス】/【チュウシシティマス】/【ハイシュツシティマス】/【データマチデス】/【チクセキシティマス】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

参照

メッセージについては、「7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧 (P.204)を参照してください。

入力ポート

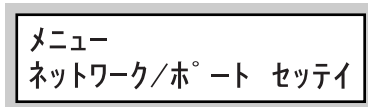
データ受信の入力ポートを表します。【パラレル】/【IPP】/【SMB】/【EtherTalk】/【lpd】/【NetWare】といったメッセージが、状況に応じて表示されます。

トレイ

印刷する用紙トレイを表します。

●●● 共通メニュー画面

すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。共通メニュー画面を表示するには、**メニュー**を押してください。
ネットワーク/ポート設定の画面を表示すると、次のように表示されます。



参照

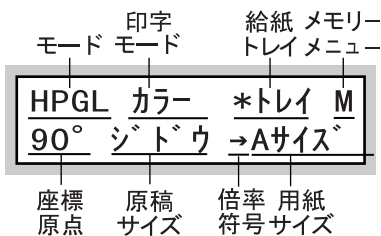
共通メニュー画面については、「第8章 共通メニューの設定 (P.223)」を参照してください。

●●● モードメニュー画面

オプションのART /エミュレーションキット装着時に、エミュレーションごとに、その処理に固有の設定をする画面です。

モードメニュー画面を表示するには、**モード**を押してください。

例えば、HP-GL/2エミュレーションのモードメニュー画面を表示すると、次のように表示されます。



参照

- モードメニューは、オプションのART /エミュレーションキット装着時に設定できます。
- モードメニュー画面については、『ART /エミュレーションキット取扱説明書』を参照してください。

3.2 電源を入れる/切る

プリンターを使用するときは、電源を入れます。電源スイッチを入れてから約45秒以内に印刷できる状態になります。

なお、1日の印刷作業の終わりや長期間プリンターを使用しないときには、電源を切ってください。

注記

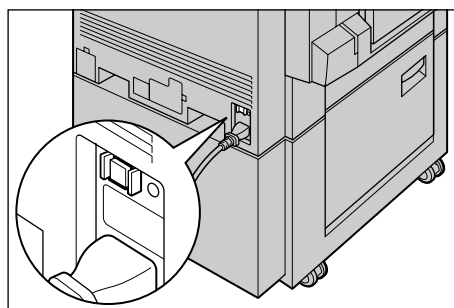
電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

3.2.1 電源を入れる

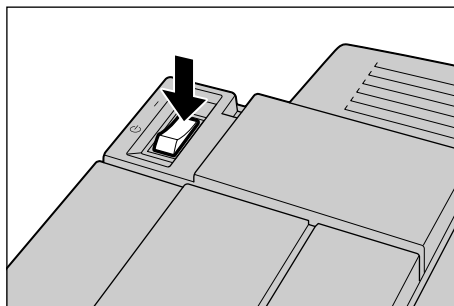
次の手順に従って、電源を入れます。

操作手順

- ① プレーカースイッチがリセット状態 (ボタンが押し込まれている) になっていることを確認します。



- ② 上面左奥の電源スイッチ [] の側を押して電源を入れます。



- ③ 電源を入れると、操作パネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されます。この表示が【プリントデキマス】になることを確認します。

プリント デキマス

補足

【オマチクダサイ】の表示になっているときは、プリンターのウォームアップ中です。この間は、印刷できません。約45秒後に印刷できる状態になり、表示が【プリントデキマス】に変わります。

注記

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)を参照して対処をしてください。


3.2.2 電源を切る

次の手順に従って、電源を切ります。

注記

電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

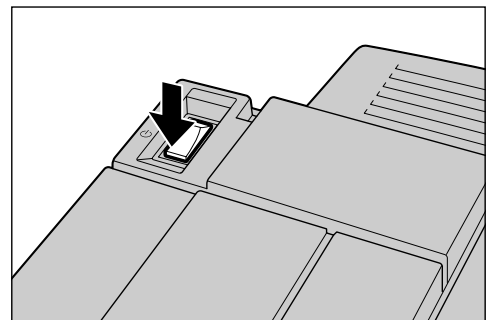
操作手順

- ① 操作パネルのディスプレイ表示などで、印刷ジョブの処理中でないことを確認します。
- ② 上面左奥にある電源スイッチの [] の側を押し、電源を切ります。

注記

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.204)を参照して対処をしてください。

プリント デキマス



待機しているときの電力の消費を抑えるために、一定時間印刷データを受信しないと、プリンターは自動的に低電力モード(スリープモード)になります。本機を使用せずに一定時間が経過すると、定着部を休止状態にしてスリープモードに入ります。スリープモードに入るまでの時間は、15~240分の間で設定できます。スリープモード時の消費電力は、5W以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約45秒です。スリープモード中に印刷データを送信すると、スリープモードが自動的に解除され、印刷処理を開始します。

補足

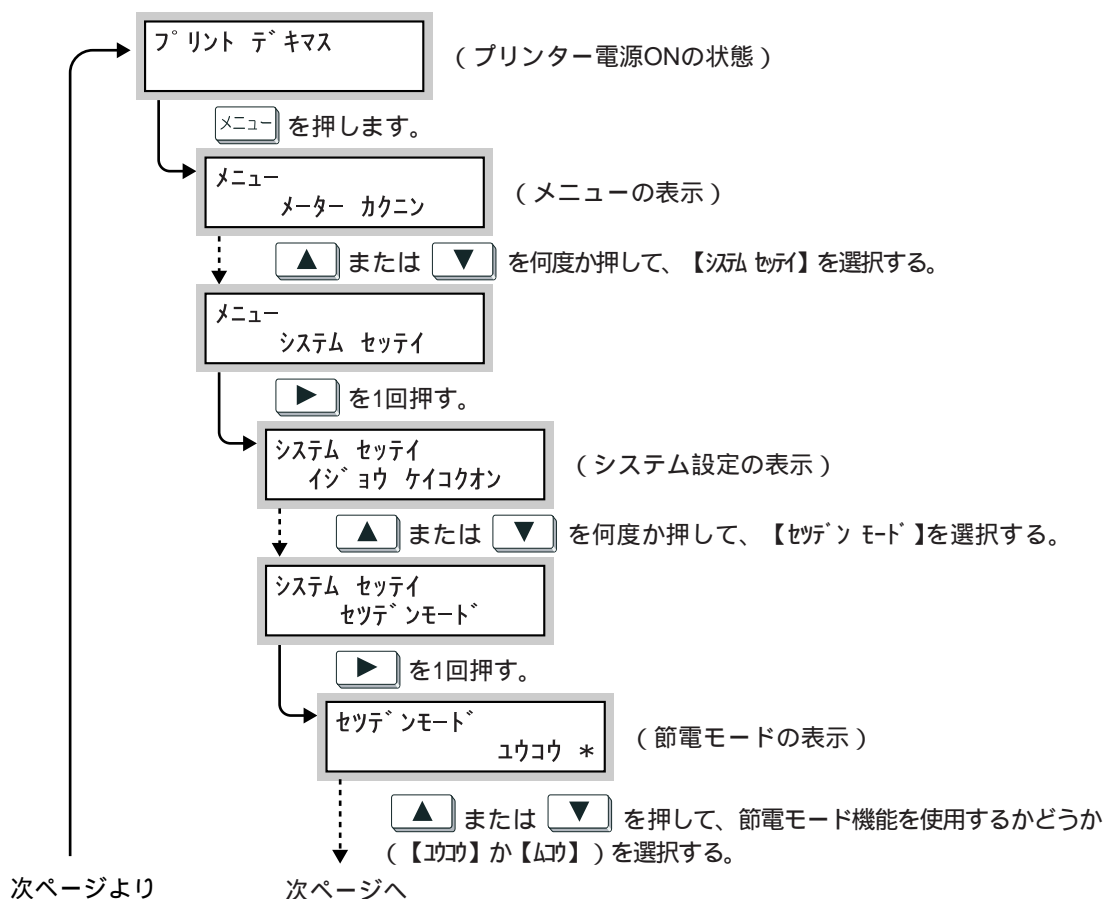
本機の操作パネルでは、スリープモードを「節電モード」と表示します。

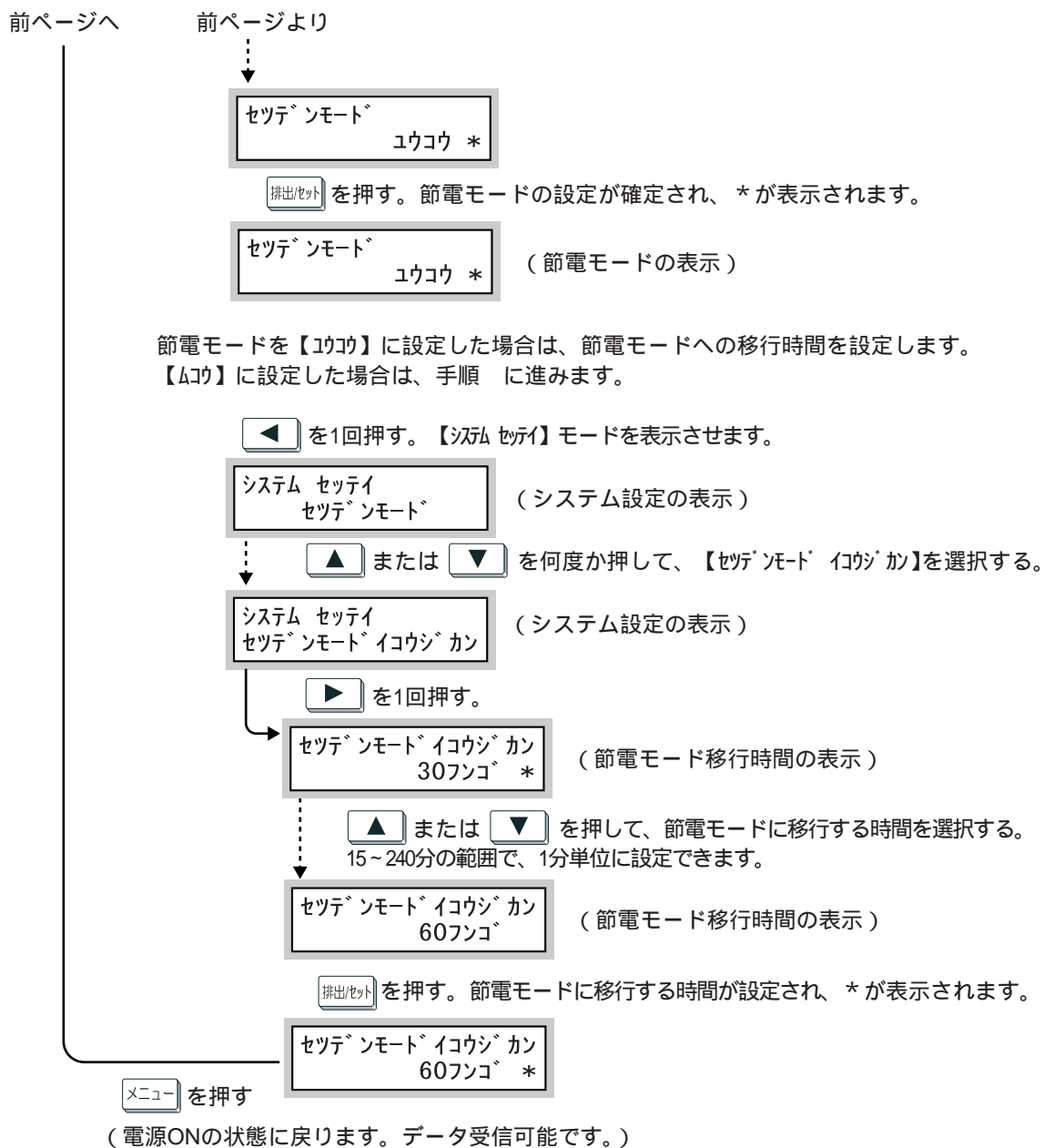
3.3.1 節電機能を設定する

節電機能の設定や、スリープモードに入るまでの時間の変更は、操作パネルで設定するか、CentreWare Internet Servicesで設定します。ここでは、プリンターの操作パネルで設定する手順を説明します。

参照

CentreWare Internet Servicesを使用する場合は、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。





3.3.2 節電状態を解除する

節電状態は、クライアントからのデータを受信すると、自動的に解除されます。
また、操作パネルの **節電** を押すことによって、手動で節電状態を解除できます。

印刷する

4.1	印刷の流れ(Windows®)	62
4.2	主な印刷機能一覧	63
4.2.1	印刷機能の設定について	63
4.2.2	オンラインヘルプの使い方	64
4.2.3	主な印刷機能一覧	65
4.3	印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する	77
4.3.1	クライアント側で印刷を中止する	77
4.3.2	プリンター側で印刷を中止する	78
4.3.3	印刷指示したジョブの状態を確認する	79
4.4	特殊用紙に印刷する	80
4.5	はがき/封筒/長尺サイズの内紙に印刷する	82
4.6	登録したフォームに印刷する(オーバーレイ印字)	85
4.6.1	フォームデータファイルを作成/登録する	85
4.6.2	フォームを使用して印刷する	87
4.7	非定形用紙に印刷する	88
4.7.1	非定形用紙を登録する	88
4.7.2	印刷の仕方	90
4.8	TrueTypeフォントの印刷方法を設定する	92
4.8.1	TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する	92
4.8.2	TrueTypeフォントの印刷方法を設定する	93
4.9	機密文書を印刷する(セキュリティープリント)	95
4.9.1	セキュリティープリントの登録をする	95
4.9.2	セキュリティープリントをする	96
4.10	印刷モードを設定する	100
4.11	画質を調整して印刷する	103
4.11.1	明度/彩度/コントラストを調整する	103
4.11.2	カラーバランスを調整する	105
4.11.3	デバイス(モニター、スキャナ - など)の 特性の違いを補正する	106

4章

4.1 印刷の流れ(Windows®)

Windows®環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
(ご使用になるクライアントやシステム構成によって、異なる場合があります。)

クライアント側で使用するアプリケーションソフトウェアを起動する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて

メニュー操作をする

クライアントから印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。
共通メニューのネットワークポート設定で使用するポート状態を確認する
共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で使用するポートのプリントモードを確認する

参照

操作については、「8.2 共通メニューの設定を変更する (P.228)」を参照してください。

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションソフトウェアの説明書をごらんください。

必要に応じて

印刷を中止する

参照

操作については、「4.3 印刷を中止する/印刷を指示したジョブの状態を確認する (P.77)」を参照してください。

必要に応じて

排出する

参照

操作については、「7.6 印刷データを強制的に排出させる (P.221)」を参照してください。

終了

4.2 主な印刷機能一覧

4.2.1 印刷機能の設定について

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示するプロパティや、お使いのコンピュータ - にインストールしたプリンターのアイコンのプロパティ画面で設定を行います。

開いたプロパティ画面で、各タブを切り替えて、機能を設定します。

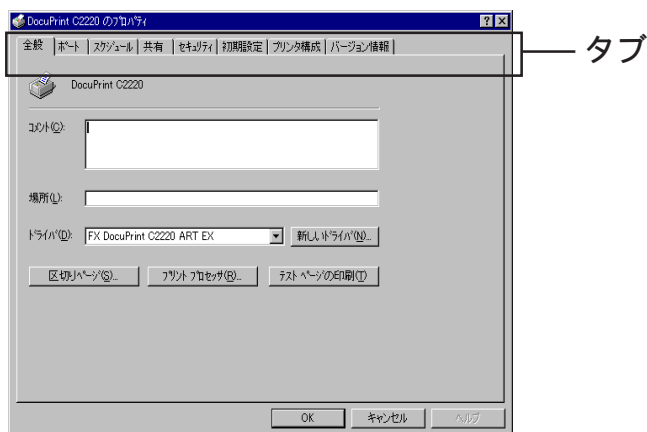
設定方法などについては、ART EXプリンタードライバのオンラインヘルプを参照してください。

参照

- オンラインヘルプの使い方については、「4.2.2 オンラインヘルプの使い方」(P.64)を参照してください。
- [プリンタの構成]タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され設定できません。

●● プロパティ画面

[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示した場合(Windows® NTの場合)



アプリケーションからの印刷設定でプリンターのプロパティ画面を表示した場合(Windows® NTの場合)



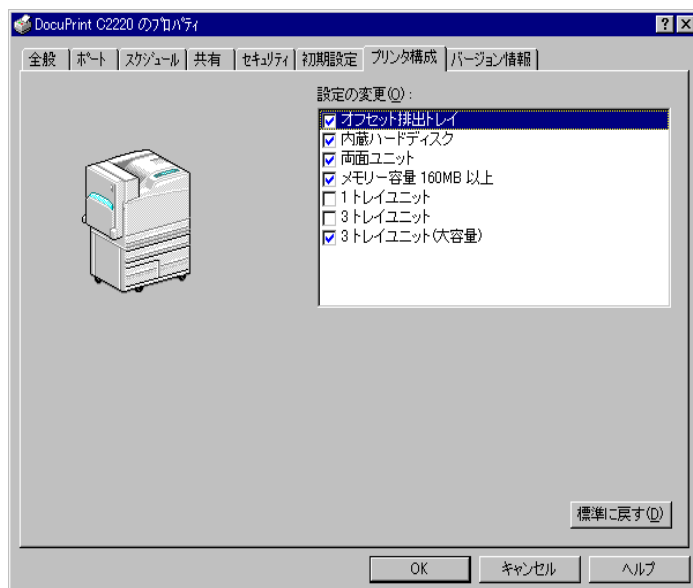
4.2.2 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプを使って、プリンタードライバー画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。

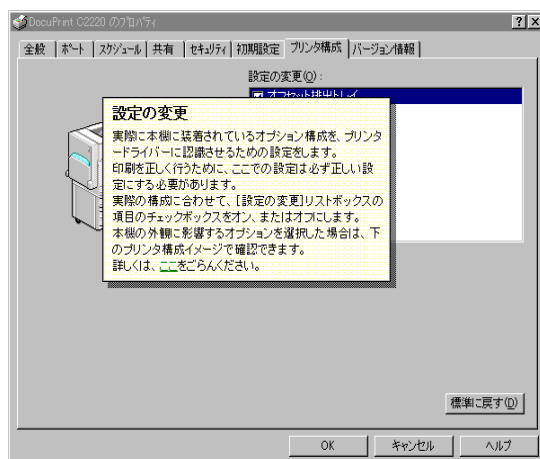
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows® NTを例に説明します。

操作手順

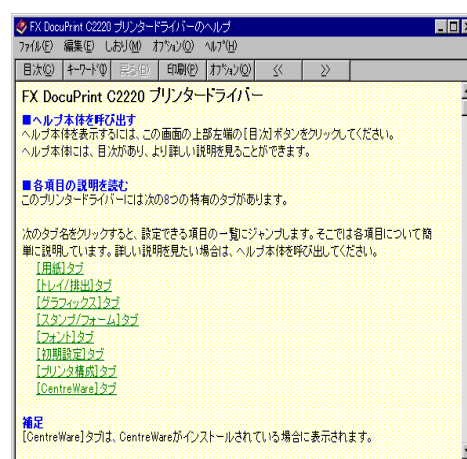
- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
- ② 使用する機能によって、各タブを選択し、[?]をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の[ヘルプ]をクリックします。



- ③ ヘルプが表示されます。



[?] を使用した場合



[ヘルプ] をクリックした場合

4.2.3 主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタードライバーのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

補足

- 以下のプリンタードライバーの機能は、ART EX Printer Driver Version1.5.0(2001年6月現在)のもので、
- [プリンタ構成]タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され選択できません。

●● [用紙]タブ

カラーモード

白黒、または自動(カラー/白黒)から選択します。

部数

印刷する部数を、1~999枚の範囲で、指定できます。

原稿サイズ

印刷するファイルの原稿サイズを指定します。

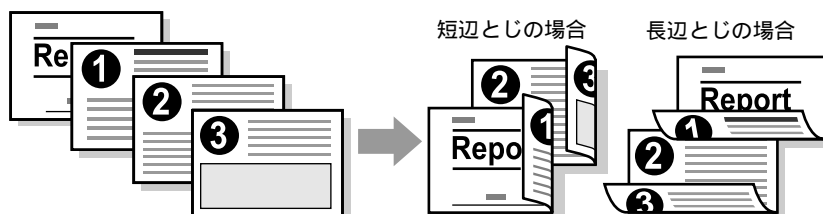
出力用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを指定します。

ズーム

チェックボックスをオフにすると、[用紙]タブの[出力用紙サイズ]で選択した用紙サイズに合わせて、自動的に拡大/縮小して印刷します。
チェックボックスをオンにすると、任意の倍率を指定して印刷できます。倍率は、25~400%の範囲で、1%刻みに指定できます。

両面印刷



両面に印刷します。
両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。「長辺とじ」は用紙の長辺、「短辺とじ」は用紙の短辺を軸におもてとらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。両面印刷機能付きの場合に使用できます。

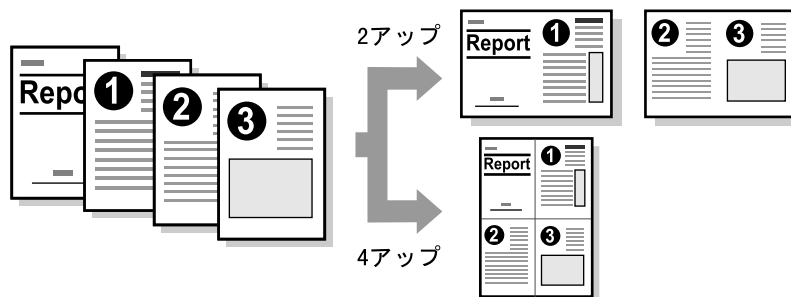
原稿の向き

印刷する原稿の向きを指定します。[たて] または [よこ] を選択します。

[たてよこ混在原稿設定]ダイアログボックス

[たてよこ混在原稿設定...] ボタンをクリックすると、[たてよこ混在原稿設定]ダイアログボックスが表示されます。
印刷するファイルにたてとよこのページが混在する場合の設定ができます。

まとめて1枚

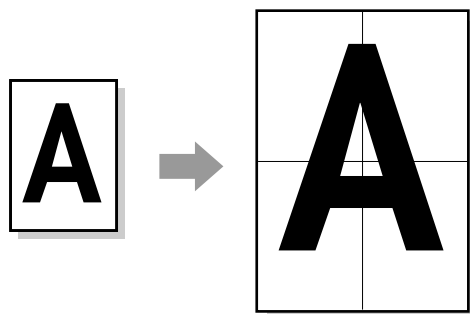


連続する2/4/8ページ分の原稿を、1枚の用紙にまとめて印刷します。この機能を「まとめて1枚」といいます。
まとめて1枚にするページ数を、[2アップ] [4アップ] [8アップ] から選択します。
また、下に表示される[印字方向]で、用紙に割り付ける順序が指定できます。

[拡大連写/小冊子作成]ダイアログボックス

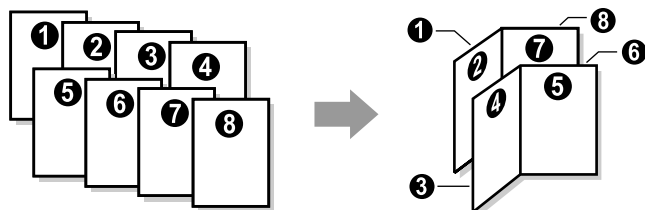
[拡大連写/小冊子作成...] ボタンをクリックすると、[拡大連写/小冊子作成]ダイアログボックスが表示されます。拡大連写と小冊子作成の設定ができます。

拡大連写



1ページ分のデータを拡大して、複数枚の用紙に分けて印刷できます。ポスター作成などに使用できます。印刷する用紙の枚数を、[2×2] [3×3] [4×4] から選択します。

小冊子作成



複数ページの原稿を印刷して重ね合わせ、中央で2つ折りにしたとき、中とじ冊子(小冊子)になるように印刷します。この機能を「小冊子作成」といいます。

●●● [トレイ/排出]タブ

用紙トレイ選択

印刷に使用する用紙トレイを指定します。

[自動] [トレイ1] [トレイ2] [トレイ3] または [トレイ3 (大容量)] [トレイ4] または [トレイ4 (大容量)] [トレイ5 (手差し)] から選択します。表示される用紙トレイは、装着されている用紙トレイによって異なります。

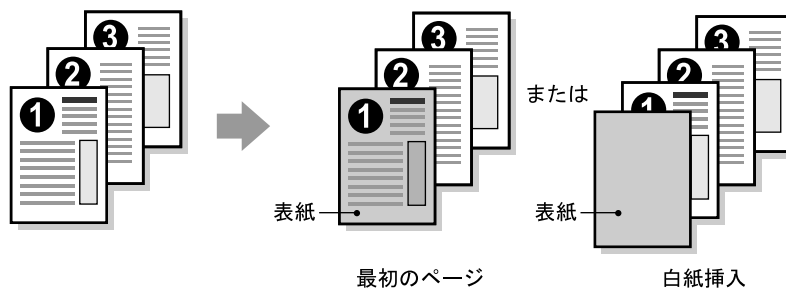
手差し用紙種類

用紙トレイ5 (手差し) を使って印刷する場合の用紙の種類を指定します。

[上質紙] [普通紙] [再生紙] [厚紙1 (106 ~ 169g/m²)] [厚紙1 (106 ~ 169g/m²) うら面] [厚紙2 (170 ~ 220g/m²)] [厚紙2 (170 ~ 220g/m²) うら面] [OHPフィルム] [うす紙 (55 ~ 63g/m²)] [ラベル紙] [ユーザー定義用紙1 ~ 5] から選択します。

[表紙付け] ダイアログボックス

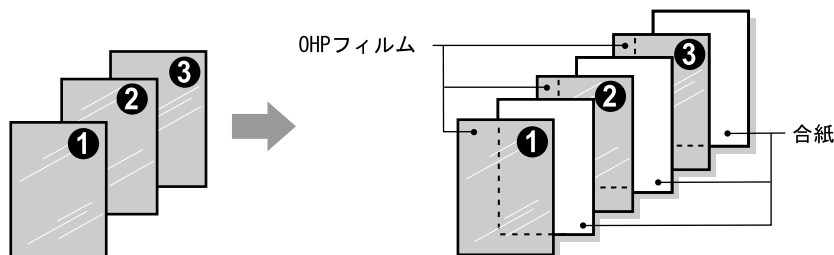
[表紙付け...] ボタンをクリックすると、[表紙付け] ダイアログボックスが表示されます。原稿の最初のページ、または原稿の前に白紙を挿入し、それを表紙として、本文とは別の用紙に印刷することができます。



[OHP合紙] ダイアログボックス

[OHP合紙...] ボタンをクリックすると、[OHP合紙] ダイアログボックスが表示されます。OHPフィルムに1枚印刷するごとに、合紙を自動的に挿入する設定ができます。

OHPフィルムは、用紙トレイ5 (手差し) にセットし、合紙用の用紙は、用紙トレイ1にセットします。OHPフィルムのセット方向と、合紙のセット方向は同じにしてください。また、このとき [初期設定] タブの [プリント機能] > [手差し用紙の給紙方向] の設定とOHPフィルムのセット方向が合っていないと印刷できません。

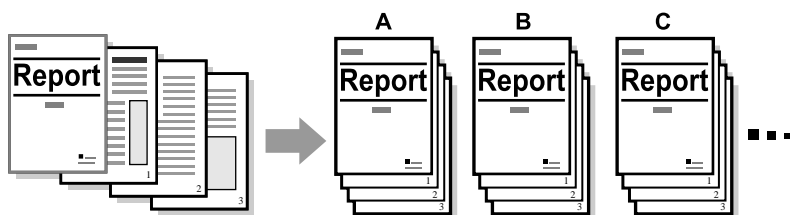


オフセット排出



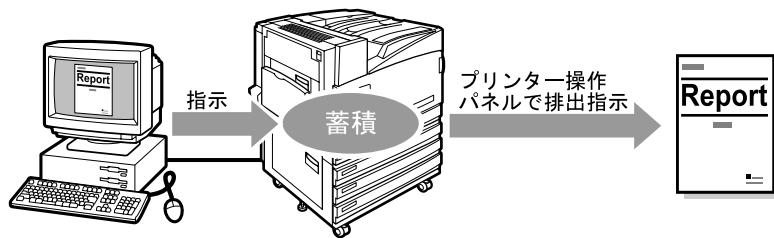
ジョブ(印刷指示)部(セット)単位に位置をずらして用紙を排出することを、「オフセット排出」といいます。直前のジョブ/部の排出位置が手前ならば、次は奥にずらして排出します。この機能は、オフセット排出トレイが装着されている場合に使用できます。

ソートする[1部ごと]



チェックボックスをオンにすると、複数ページのファイルを部単位で印刷できます。この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されていて、本機のメモリー容量が160MB以上の場合に使用できます。

[セキュリティプリント]ダイアログボックス

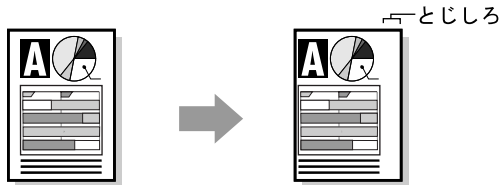


[セキュリティプリント]ボタンをクリックすると、[セキュリティプリント]ダイアログボックスが表示されます。セキュリティープリントとは、印刷を指示したデータを一時的にプリンター内に蓄積させて、印刷したいときに、プリンター側の指示で出力させる機能です。機密文書などを印刷する場合に利用できます。この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に使用できます。また、あらかじめユーザー名と暗証番号を設定する必要があります。

参照

「4.9 機密文書を印刷する(セキュリティープリント)」(P.95)

[とじしろ]ダイアログボックス



[とじしろ...] ボタンをクリックすると、[とじしろ]ダイアログボックスが表示されます。用紙に付けるとじしろの設定ができます。とじしろは、用紙の左/右/上/下のどれかに付けることができます。0~50mmの範囲で、1mm刻みに指定できます。

●● [グラフィックス]タブ

カラーモード

カラーモードを指定します。

[自動(カラー/白黒)] または [白黒] から選択します。[自動(カラー/白黒)]は、ページごとに色を判断し、白/黒以外の色が使われている場合はカラーで、白/黒だけが使われている場合は白黒で印刷します。

補足

アプリケーション側でICCプロファイルなどを使って色変換した印刷データを、[自動(カラー/白黒)]で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。また、その場合、メーターはメーター(カラー印刷)がカウントされます。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

印刷モード

印刷する速度を優先するか、画質を優先するかを指定します。

[速度優先] [標準] [画質優先] から選択します。

[速度優先]は、[標準]に対して、速度を優先して印刷し、[画質優先]は、画質を優先して印刷します。画質優先で印刷すると、処理時間が長くなります。

補足

DocuPrint C2220では、[ページ印刷モード]を[スル]に設定すると、[印刷モード]で[標準]と[画質優先]が選べなくなります。

参照

「4.10 印刷モードを設定する」(P.100)

画質調整モード

画質調整モードを指定します。

[おすすめ] [ICM調整 (システム)] [CMS調整 (アプリケーション)] [色変換しない] から選択します。



「4.10 印刷モードを設定する (P.100)」

おすすめ画質タイプ/インテントリストボックス

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。

[おすすめ画質タイプ]は、[画質調整モード]で [おすすめ]を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから画質タイプを選択します。

[インテント]は、[画質調整モード]で [ICM調整 (システム)]を選択した場合に表示される項目で、リストボックスから色の変換方式を選択します。



「4.10 印刷モードを設定する (P.100)」

画質自動補正リストボックス

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。

[標準] [人物用] [風景用] [現場写真用] から選択します。



「4.10 印刷モードを設定する (P.100)」

[画質調整]タブ

[画質調整...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[画質調整]タブが表示されます。[画質調整]タブでは、明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。



「4.11 画質を調整して印刷する (P.103)」

[カラーバランス]タブ

[カラーバランス...]ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[カラーバランス]タブが表示されます。

[カラーバランス]タブでは、ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。



「4.11 画質を調整して印刷する (P.103)」

[プロファイル指定]タブ

[プロファイル指定...] ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[プロファイル指定]タブが表示されます。

[プロファイル指定]タブでは、原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICCプロファイルの指定ができます。



「4.11 画質を調整して印刷する」(P.103)

[詳細設定]タブ

[詳細設定...] ボタンをクリックすると、グラフィックスプロパティが開き、[詳細設定]タブが表示されます。

[詳細設定]タブでは、文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます

文字

テキストオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーだけで印刷する[グレー保証]機能や、白黒で印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する[全ての色を黒に変換]機能を設定できます。

図/表/グラフ

線など、図形として描画されるオブジェクトに対し、無彩色をブラックトナーだけで印刷する[グレー保証]機能や、白黒で印刷するときに一部のカラー部分が見えづらくなるのを回避する[全ての色を黒に変換]機能、細い線を見やすく太くして印刷する[細い線を太くする]機能などを設定できます。

写真

写真データなどイメージとして描画されるオブジェクトに対し、拡大/縮小を補正する[スムージング]機能や、[イメージを高速処理する]機能や、イメージデータの圧縮について設定できます。イメージデータの圧縮には、[しない] [ALL(標準/グラフ向き)] [JPEG(写真向き)]があります。ALLは写真以外の文書に効果があり、JPEGは写真データを含む文書に効果があります。

Image Enhancement

印刷データにスムージング処理をして、滑らかに見せる機能です。

トナーセーブ

トナーを節約して、原稿を薄く印刷します。ドラフト原稿を印刷するときなどに便利です。

薄墨印刷

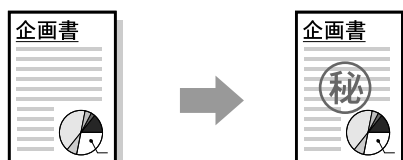
白黒印刷時に、黒で印刷する部分を薄墨色に変換して印刷します。

プリンタドライバの解像度

システムやアプリケーションに通知する解像度を設定します。細い線などが出力されない場合に設定してください。アプリケーション、または文書にも依存しますが、解像度を下げることにより、プリントスピードを早くする効果もあります。

… [スタンプ/フォーム] タブ

スタンプ



印刷データにスタンプを重ね合わせて印刷する機能を設定できます。標準スタンプとして、[スタンプ/フォーム] タブの[スタンプ] リストボックスに「マル秘」、「回覧」、「参考」、「至急」、「禁複写」、「取扱注意」の6種類が登録されています。[最初のページのみ] チェックボックスをオンにすると、印刷するファイルの最初のページにだけスタンプが印刷されます。オフにすると、すべてのページにスタンプが印刷されます。

新しいスタンプの登録、スタンプの編集、スタンプの削除もできます。

スタンプリストボックス
使用するスタンプ機能を選択します。

[新規登録] ボタン

新しい種類のスタンプを登録するときにクリックします。[スタンプ登録] ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを設定して登録します。

[編集] ボタン

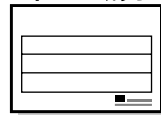
すでに登録したスタンプを編集するときにクリックします。[スタンプ編集] ダイアログボックスが表示されます。登録名、スタンプの文字列、スタンプ位置、フォント、フォントサイズ、色、枠囲み、角度などを編集します。

[最初のページのみ]

最初のページにだけスタンプを付ける場合にチェックボックスをオンにします。

フォーム

フォーム（あらかじめ登録）



アプリケーションソフトから
送信されたデータ（あとから送信）



あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合わせて印刷する「オーバーレイ印字」の設定をします。オーバーレイ印字をする場合は、フォームの作成と登録が必要です。

フォーム作成/登録

オーバーレイ印字で使用するフォームデータファイルの作成と登録をします。
チェックボックスをオンにし、[ディレクトリ]と[フォーム名]を指定して、通常の印刷指示をすると、アプリケーションソフトで作成した印刷データが、プリンターにフォームとして登録されます。また、同時にクライアントの[ディレクトリ]で指定した場所にバックアップされます。

オーバーレイ印字

あらかじめ本機に登録しておいたフォームに、印刷データを重ね合わせて印刷するオーバーレイ印字をします。
チェックボックスをオンにし、プリンターに登録されているフォームを[使用フォーム名]で指定します。



「4.6 登録したフォームに印刷する(オーバーレイ印字)」(P.85)

●● [フォント]タブ

TrueTypeフォント

TrueTypeフォントの印刷方法を設定できます。

[常にプリンタフォントを使う]は、文書内で使用されているTrueTypeフォントにいちばん近いプリンタフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。

[常にTrueTypeフォントを使う]は、すべてのTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンタフォントに置き換えられません。印刷は遅くなるがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。

[TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える]は、フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。



「4.8 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する」(P.92)

●● [初期設定] タブ

プリント機能

プリンター本体のオプション構成以外で、プリンタードライバー側の設定を変える必要がある項目の初期設定をします。

項目を選択するとタブ下部に、選択したプリント機能とその選択肢について、簡単な説明が表示されます。設定するときの参考にしてください。

設定できる項目は、次のとおりです。

ジョブオーナーの指定

ジョブオーナーの指定方法を選択します。ジョブオーナーは、プリントジョブの集計機能を使用するときに表示されます。

[ログイン名を使用する]

ジョブオーナー名として、Windows®のログイン名が使用されます。ジョブオーナー名は、「ログインユーザー名¥ホスト名」になります。ログイン名の最大文字数は、24バイト相当(半角で24文字、全角で12文字)です。24バイトを超える場合は、24バイトまでが有効になります。

[オーナー名を入力する]

ジョブオーナー名を任意に指定したい場合に選択します。下に表示される[ジョブオーナー名]に、任意のジョブオーナー名を入力します。ジョブオーナー名の最大文字数は、31バイト相当(半角で31文字、全角で15文字)です。31バイトを超える場合は、31バイトまでが有効になります。

セキュリティプリントのユーザー名

セキュリティープリント機能を使用するときのユーザー名と暗証番号を設定します。プリンターに蓄積されたデータを印刷するとき、ここで設定したユーザー名が、プリンターの操作パネルに表示されます。

ユーザー名の最大文字数は、8バイト相当(半角英数字8文字)です。8バイトを超える場合は、8バイトまでが有効になります。[暗証番号]は、4桁までの数字が入力できます。

この項目は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に表示されます。

手差し用紙の給紙方向

用紙トレイ(手差し)を使用して印刷する場合の、用紙のセット方向を[よこ置き優先] または[たて置き優先] から設定します。用紙のサイズによって、向きが限定されている場合(例えば、B4やA3サイズ)は、この設定は無効になり、用紙をセットした方向で印刷されます。この給紙方向の設定と用紙トレイ(手差し)へのセット方向が異なると印刷できません。

なお、OHP合紙機能を使用する場合は、ここでの設定と、用紙トレイ(手差し)にセットするOHPフィルムのセット方向、用紙トレイ1にセットする合紙のセット方向をすべて合わせてください。

用紙の置き換え

[トレイ/排出] タブの [用紙トレイ選択] の [自動] を選択して印刷する場合で、選択されたサイズの用紙がプリンターにないときの動作の設定をします。

選択できる項目は、次のとおりです。

[プリンタの設定を用いる]

プリンター本体の設定を使用します。設定については、プリンター本体の操作パネルで確認してください。

[用紙補給を表示する]

プリンター本体の操作パネルに、用紙補給のメッセージを表示します。用紙が補給されるまで印刷されません。

[近いサイズを選択(縮小/等倍)]

最も近いサイズの用紙を選択して印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。

[大きいサイズを選択(等倍)]

次に大きな用紙に等倍で印刷します。

アプリケーションからの機能拡張の使用

「JPEG直接印刷」や「ページごとのカラーモードの指定」など、アプリケーションからの機能拡張の使用を、プリンタードライバーでサポートするかどうかの設定をします。[する] または [しない] から選択します。

白紙節約

白紙ページを含む文書を印刷する場合に、白紙ページを印刷するかしないかの設定をします。[する] または [しない] から選択します。

メタファイルスプール(Windows NT® 4.0、Windows® 2000のみ)

印刷情報をディスクにスプールする形式を指定します。[する] または [しない] から選択します。

[しない] に設定すると、RAW形式でスプールします。印刷情報の変換に時間がかかるため、印刷処理から開放される時間が長くなります。

[する] に設定すると、EMF(メタファイル)形式でスプールします。印刷処理から開放される時間が短くなります。[する] を選択して問題が起きる場合は、[しない] を選択してください。

ページ印刷モード

印刷処理のデータ圧縮方法を設定します。[する] または [しない] から選択します。印刷指示する文書のファイルサイズが大きい場合や、印刷指示したあと、なかなか印刷されない場合は、[する] を選択して印刷を試してください。イメージや、文字の点数の多い複雑な文書を印刷する際に有効です。

このモードは、本機のメモリー容量が160MB以上の場合に使用できます。

補足

- DocuPrint C2220では、[ページ印刷モード]を[する]に設定すると、[印刷モード]で [標準]と [画質優先]が選べなくなります。
- ページ印刷モードは、[印刷モード]が速度優先、および標準のときだけ有効です。

[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックス

[フォント置き換えテーブルの編集...] ボタンをクリックすると、[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスが表示されます。

TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。

参照

「4.8 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する」(P.92)

[ユーザー定義用紙]ダイアログボックス

[ユーザー定義用紙...] ボタンをクリックすると、[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスが表示されます。

非定形サイズの用紙に印刷するための用紙サイズが登録できます。

用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。

用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100～305mm、長辺140～482mmの範囲で0.1mm刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94～12.01インチ、長辺5.51～18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます。

参照

「4.7 非定形用紙に印刷する」(P.88)

●●● [CentreWare]タブ

補足

[CentreWare]タブは、CentreWareがインストールされている場合に表示されます。

ドキュメントモニターを使用する

CentreWareのドキュメントモニターを、使用するかしないかを設定します。
必要に応じて、チェックボックスをオン、またはオフにします。

4.3

印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する

印刷を中止するには、まずクライアント側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンター側で印刷を取り消します。また、印刷を指示したジョブの処理状況をクライアント側で確認できます。以下に操作方法を説明します。

4.3.1 クライアント側で印刷を中止する

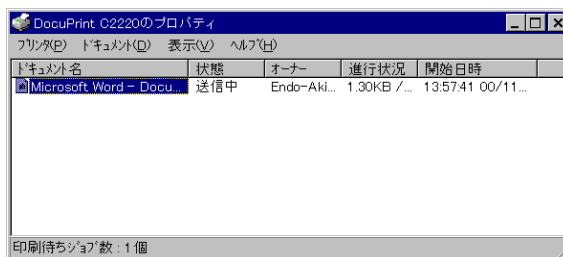
クライアント側で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

●●● Windows®での取り消し方法

Windows®をお使いの場合の印刷指示の取り消し方法について説明します。

操作手順

- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。
- ② 該当するプリンターアイコンをダブルクリックします。
- ③ 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除 (Delete キーを押す) します。



●●● CentreWare Internet Servicesを使った取り消しについて

CentreWare Internet Servicesを使用して、プリンターに指示した印刷データを取り消すことができます。

CentreWare Internet Servicesについては、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

4.3.2 プリンター側で印刷を中止する

●●● 処理中の印刷ジョブを中止する

プリンター側で、処理中のジョブの印刷を中止するには、プリンターの操作パネルの **モード** と **メニュー** を同時に押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

●●● プリンター内のすべての印刷ジョブを中止する

プリンターに受信されているすべてのジョブに対して印刷を中止する方法を以下に説明します。この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

補足

バッファとは、クライアントから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

参照

プリンター内のすべてのジョブを実行して印刷する方法もあります。詳しくは、「7.6 印刷データを強制的に排出させる」(P.221)を参照してください。

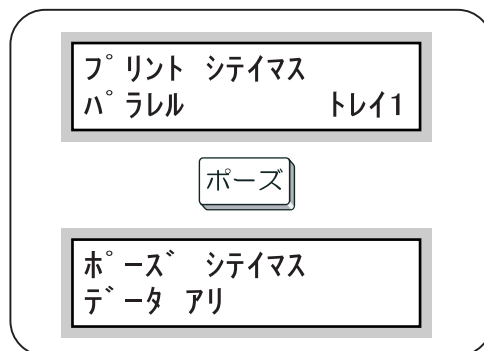
操作手順

- ① 右記のディスプレイ状態で、**ポーズ** を押します。

ポーズ状態になります。

補足

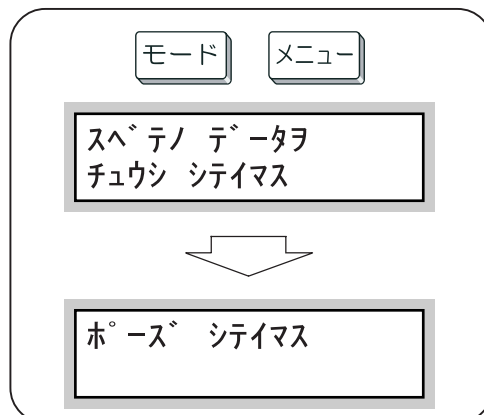
ポーズ を押すと、プリンターは自動的にデータの受信ができない状態となります。



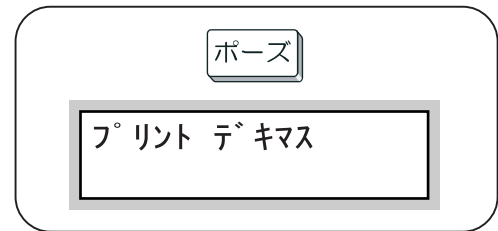
- ② 右記のディスプレイ状態で、**モード** と **メニュー** を同時に押します。

中止の処理が行われます。

処理が終了すると、【ポーズシステム】の表示になります。



- ③ **ポーズ**を押します。
【プリントデキマス】の表示になります。



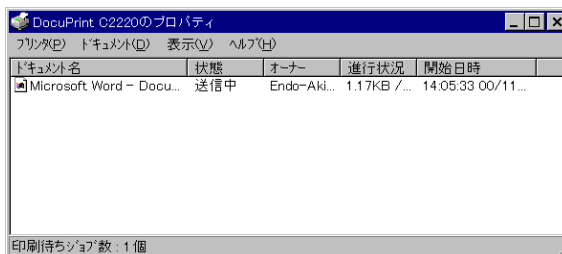
4.3.3 印刷指示したジョブの状態を確認する

●●● Windows®での確認方法

Windows®をお使いの場合の印刷指示したジョブの確認方法について説明します。

操作手順

- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。
- ② 該当するプリンターアイコンの[状態]を確認します。



●●● CentreWare Internet Servicesを使った確認方法について

CentreWare Internet Servicesを使用して、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

CentreWare Internet Servicesについては、「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.110)を参照してください。

4.4 特殊用紙に印刷する

特殊用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。

- 厚紙1(106 ~ 169 g / m²)
- 厚紙1(106 ~ 169 g / m²)うら面
- 厚紙2(170 ~ 220 g / m²)
- 厚紙2(170 ~ 220 g / m²)うら面
- OHPフィルム
- うす紙(55 ~ 63 g / m²)
- ラベル紙
- ユーザー定義用紙1 ~ 5

特殊用紙に印刷する場合は、用紙トレイ(手差し)を使用します。

給紙トレイの指定は、[トレイ/排出]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

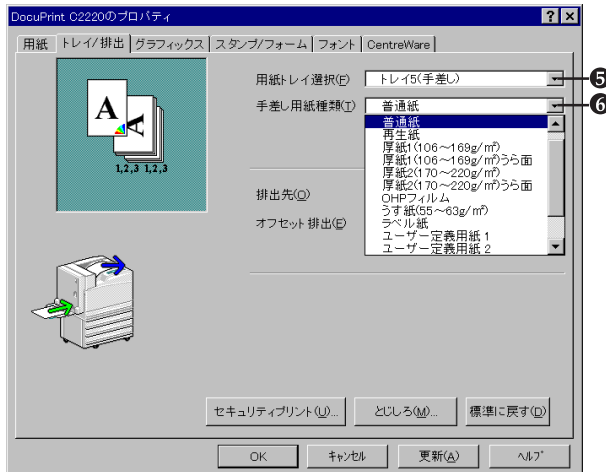
補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 用紙トレイ(手差し)の使い方については、「6.1 用紙をセットする (P.120)を参照してください。

操作手順

- ① 手差しトレイに、特殊用紙をセットします。
- ② [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。
- ③ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ④ [トレイ/排出]タブをクリックします。

- ⑤ [用紙トレイ選択] から、[トレイ5(手差し)]を指定します。



- ⑥ [手差し用紙種類] から、用紙の種類を選択します。
- ⑦ [OK] をクリックし、印刷を実行します。

4.5

はがき / 封筒 / 長尺サイズ of 用紙に印刷する

官製はがき、封筒(定型長3号封筒)、または長尺サイズの用紙に印刷する方法を説明します。

補足

長尺サイズの用紙が使用できるのは、DocuPrint C2221だけです。DocuPrint C2221を使って、長尺サイズの用紙に印刷するには、オプションの増設256MBメモリーが必要です。

はがき / 封筒のセット方法

用紙トレイ(手差し)に、官製はがき、または封筒(定型長3号封筒)をセットします。

補足

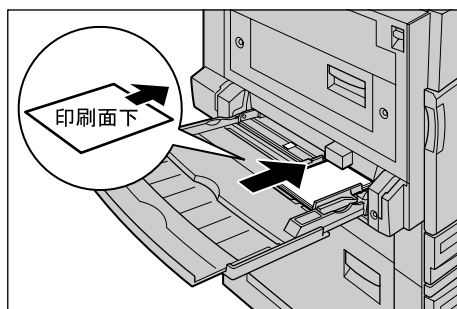
用紙トレイ(手差し)の使い方については、「6.1 用紙をセットする」(P.120)を参照してください。

操作手順

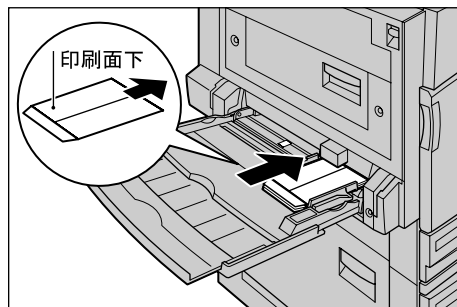
- 1 はがきや封筒の印刷する面を下に向けます。
- 2 はがきをセットする場合は、郵便番号枠側を差し込み口に向けてセットします。

注記

はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。



封筒をセットする場合は、開封部の反対側(底の部分)を差し込み口に向けてセットします。



補足

- 用紙上限線を越えて、セットしないでください。
- 封筒をセットする向きは、官製はがきと天地が反対になります。画像を自動的に180度回転して印刷します。

長尺サイズ用紙のセット方法 (DocuPrint C2221の場合だけ)

用紙トレイ(手差し)に、長尺サイズの用紙をセットします。

補足

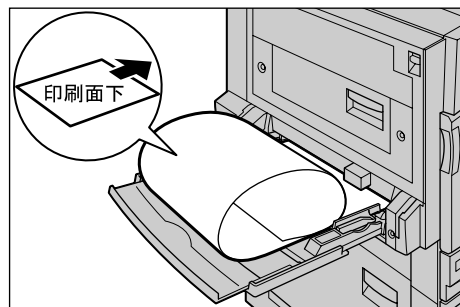
用紙トレイ(手差し)の使い方については、「6.1 用紙をセットする」(P.120)を参照してください。

操作手順

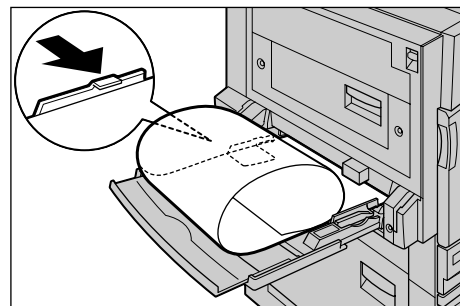
- ① 長尺サイズの用紙の印刷する面を下に向けて、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。

補足

用紙は、1枚ずつセットしてください。



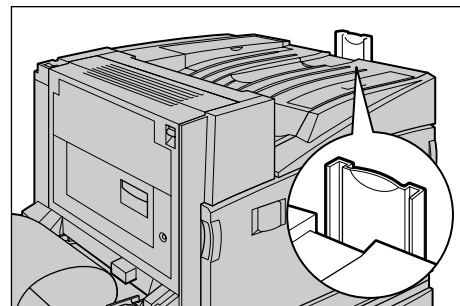
- ② 用紙サイズ合わせガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。



- ③ 用紙止めを立てます。

補足

- 長尺サイズの用紙は長いので、用紙が床に落ちないように必ず用紙止めを立ててから印刷してください。
- 紙づまりを防ぐために、印刷し終わった用紙は1枚ずつ受け取ってください。



●●● 印刷設定

印刷の設定は、[トレイ/排出]タブと[用紙]タブを表示して行います。ここでは、Windows NT®のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

- ① [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [トレイ/排出]タブをクリックし、[用紙トレイ選択]から、[トレイ(手差し)]を指定します。

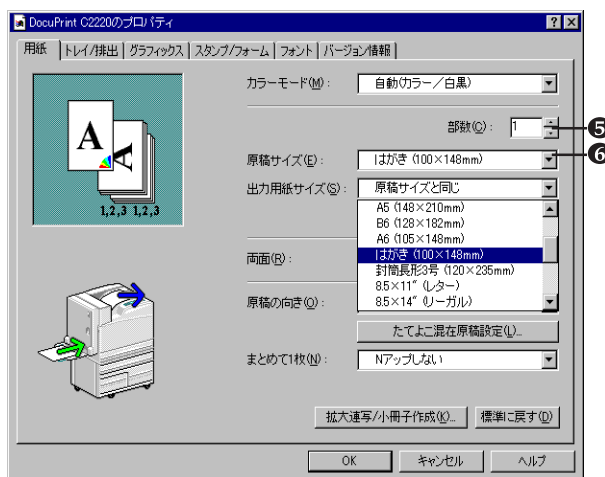


- ④ はがき、封筒の場合は、[手差し用紙種類] から、[厚紙2(170 ~ 220g/m²)] または [厚紙2(170 ~ 220g/m²)うら面] を、長尺の場合は、[厚紙1(106 ~ 169g/m²)] または [厚紙1(106 ~ 169g/m²)うら面] を指定します。

補足

はがき、封筒で両面に印刷する場合は、最初の印刷面は [厚紙2(170 ~ 220g/m²)] を選択し、そのうら面を印刷するときは、[厚紙2(170 ~ 220g/m²)うら面] を選択してください。長尺で両面に印刷する場合は、最初の印刷面は [厚紙1(106 ~ 169g/m²)] を選択し、そのうら面を印刷するときは、[厚紙1(106 ~ 169g/m²)うら面] を選択してください。

- ⑤ [用紙] タブをクリックし、[原稿サイズ] から、任意の原稿サイズを選択します。



- ⑥ [出力用紙サイズ] から、はがきの場合は [はがき(100 × 148mm)] を、封筒の場合は [封筒長形3号(120 × 235mm)] を、長尺の場合は [長尺(297 × 900mm)] を指定します。

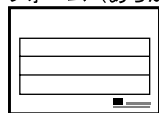
- ⑦ [OK] をクリックし、印刷を実行します。

4.6 登録したフォームに印刷する (オーバーレイ印字)

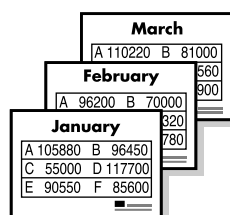
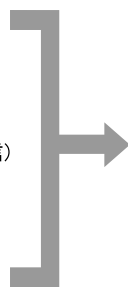
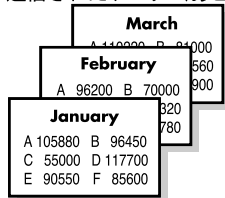
あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合せて印刷することができます。この機能を「オーバーレイ印字」といいます。複数ページの原稿にも、すべてのページにフォームを重ねて印刷します。

オーバーレイ印字をする場合は、あらかじめフォームデータファイルを作成/登録する必要があります。

フォーム (あらかじめ登録)



アプリケーションソフトから
送信されたデータ (あとから送信)



オーバーレイ印字の指定は、[スタンプ/フォーム]タブを表示して行います。ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- フォームは、64ファイルまで登録できます。内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合は、2048ファイルまで登録できます。
- 印刷されるカラーモードは、オーバーレイ印字を指定するときのカラーモードにより決定されます。オーバーレイ印字を白黒で指定すると、白黒で印刷されます。オーバーレイ印字を自動で指定した場合は、フォームデータファイルを登録したときのカラーモードと、オーバーレイ印字を指定したときのカラーモードによって、印字されるカラーモードが自動的に決定されます。

4.6.1 フォームデータファイルを作成/登録する

操作手順

- ① アプリケーションソフトでフォームデータファイルの原稿を作成します。
- ② [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ③ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

- ④ [スタンプ/フォーム]タブをクリックします。
- ⑤ [フォーム作成/登録]チェックボックスをオンにします。



- ⑥ [ディレクトリ]にバックアップデータを保存するディレクトリー名を、127バイト以内で指定します。
- ⑦ [フォーム名]にフォーム名を、半角英数、半角カタカナを使って、8文字以内で指定します。

補足

以前作成したフォームを再登録する場合は、[参照...]ボタンをクリックして、バックアップされているフォームを指定し、[再登録]ボタンをクリックします。

- ⑧ [OK]をクリックし、印刷を指示します。

プリンターからは何も印刷されませんが、この時点で、本機にアプリケーションソフトで作成した原稿はフォームファイルとして登録されます。

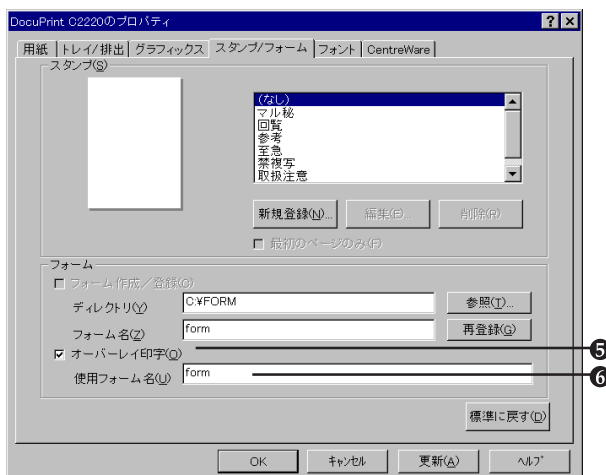
補足

登録したフォームは、ART EXフォーム登録リストで確認できます。ART EXフォーム登録リストについては、「6.3 レポート/リストを印刷する (P.149)を参照してください。

4.6.2 フォームを使用して印刷する

操作手順

- ① アプリケーションソフトで、フォームに重ねる原稿を作成します。
- ② [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ③ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ④ [スタンプ/フォーム]タブをクリックします。
- ⑤ [オーバーレイ印字]チェックボックスをオンにします。



- ⑥ [使用フォーム名]に、本機に登録されているフォーム名と同じ名前を、半角英数、半角カタカナを使って、8文字以内で指定します。
- ⑦ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.7 非定形用紙に印刷する

非定形サイズ用の紙に印刷する方法について説明します。非定形用紙に印刷するには、まずプリンタードライバーに非定形サイズの登録をします。

非定形サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、[用紙]タブの[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]から、それぞれ非定形サイズ(ユーザー定義サイズ)が選択できるようになります。印刷するときは、用紙トレイ(手差し)を使用してください。

用紙サイズは5種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺100~305mm、長辺140~482mmの範囲で0.1mm刻みに、インチ単位の場合は、短辺3.94~12.01インチ、長辺5.51~18.98インチの範囲で0.01インチ刻みに指定できます

補足

- Windows NT® 4.0、Windows® 2000では、「Administrator」の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけです。
- [ユーザー定義用紙]ダイアログボックスの設定は、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、ローカルプリンターではクライアントのフォームデータベースを使用するため、クライアント上の他のプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のクライアント上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、クライアント上の他のプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、他のクライアント上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

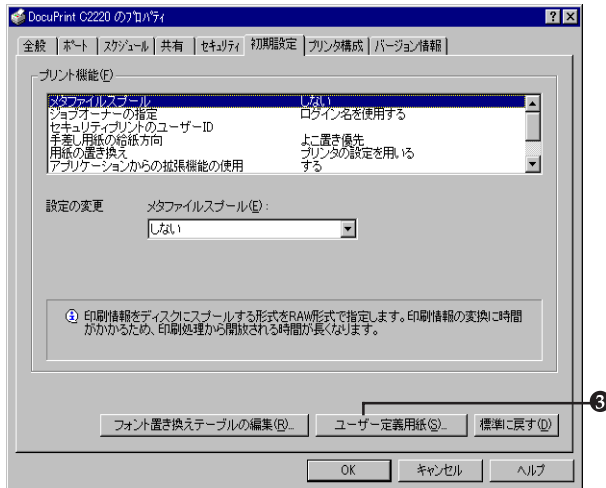
4.7.1 非定形用紙を登録する

非定形サイズの用紙の登録は、[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで行います。

操作手順

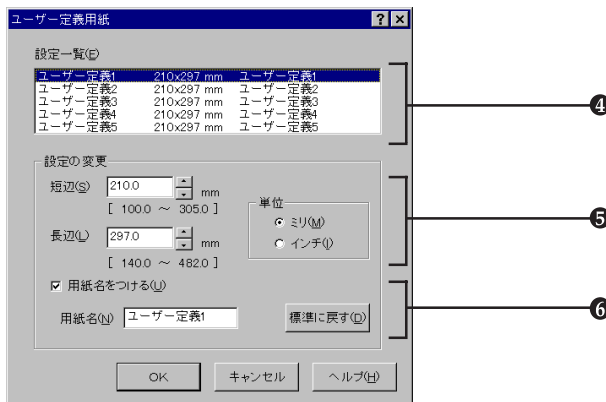
- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
- ② [初期設定]タブをクリックします。

- ③ [ユーザー定義用紙...] をクリックします。



[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスが表示されます。

- ④ [設定一覧] リストボックスから、設定する用紙を選択します。



- ⑤ [設定の変更] で、短辺と長辺の長さを指定します。

キー入力、または ボタンで指定します。

短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

- ⑥ 用紙名を付ける場合は、[用紙名をつける] チェックボックスをオンにして、[用紙名]に入力します。

用紙名の最大文字数は半角で14文字、全角で7文字です。

- ⑦ 必要に応じて、手順 ④ ~ ⑥ を繰り返して、用紙サイズを定義します。

- ⑧ [OK] をクリックします。

- ⑨ [初期設定] タブで、[OK] をクリックします。

4.7.2 印刷の仕方

非定形サイズ用の紙に印刷する方法を説明します。印刷するときは、用紙トレイ(手差し)を使用してください。

参照

用紙トレイ(手差し)の使い方については、「6.1 用紙をセットする (P.120)」を参照してください。

ここでは、Windows NT®のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

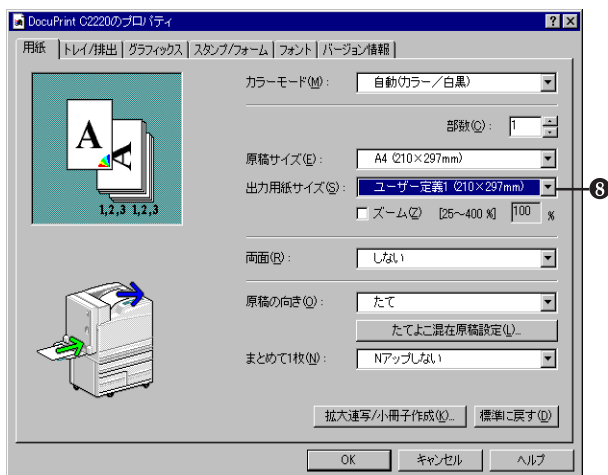
操作手順

- ① 用紙トレイ(手差し)に、非定形サイズの用紙をセットします。
- ② [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ③ [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ④ [トレイ/排出]タブをクリックします。
- ⑤ [用紙トレイ選択]から、[トレイ(手差し)]を選択します。



- ⑥ [手差し用紙種類]から、用紙の種類を選択します。

- ⑦ [用紙] タブをクリックします。
- ⑧ [出力用紙サイズ] から、使用する非定形サイズ of 用紙を選択します。



- ⑨ [OK] をクリックし、印刷を実行します。

4.8

TrueTypeフォントの印刷方法を設定する

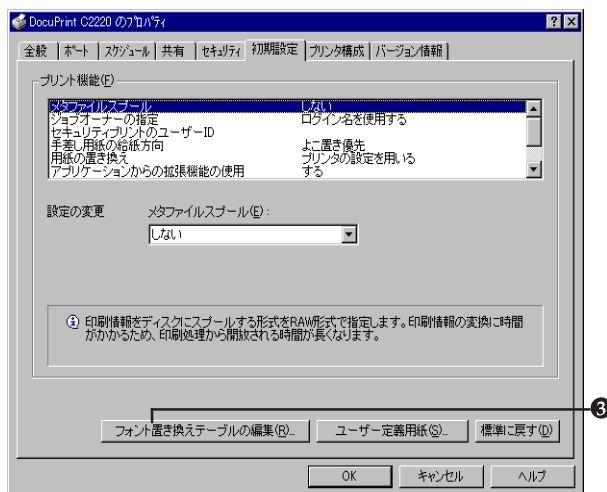
ここでは、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できるフォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueTypeフォントの置き換え方法について説明します。

4.8.1 TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する

フォント置き換えテーブルで、TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスで行います。

操作手順

- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
- ② [初期設定]タブをクリックします。
- ③ [フォント置き換えテーブルの編集...]をクリックします。



[フォント置き換えテーブルの編集]ダイアログボックスが表示されます。

[TrueTypeフォント]列には、システムにインストールされているすべてのTrueTypeフォント (Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meではフォントのファミリー名、Windows NT® 4.0、Windows® 2000ではフォントのフェイス名)が表示されます。

[プリンタフォント]列には、TrueTypeフォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。[ソフトフォント]と表示されているフォントは、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。

- ④ [TrueTypeフォント] 列から、設定を変更するフォントを選択します。



- ⑤ [置き換えるプリンタフォント] から、使用するプリンタフォントを選択します。[ソフトフォント] を選択すると、印刷時にTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして使用します。
- ⑥ 必要に応じて、手順 ③、④を繰り返して、置き換えるフォントを指定します。
- ⑦ [OK] をクリックします。
- ⑧ [初期設定] タブで、[OK] をクリックします。

4.8.2 TrueTypeフォントの印刷方法を設定する

TrueTypeフォントの置き換え方法を指定して印刷できます。選択できる項目は、次のとおりです。

選 択 肢	内 容
常にプリンタフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントを、プリンターフォントに置き換えて印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントにいちばん近いプリンターフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
常にTrueTypeフォントを使う	すべてのTrueTypeフォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されているTrueTypeフォントを、プリンターフォントに置き換えません。印刷は遅くなるがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定 に従って、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンターフォントに置き換えるものと、プリンターにダウンロードするものの2種類の設定があります。Windows® 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと (Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合) またはフォントフェイスごと (Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合) に設定できます。

参照

フォント置き換えテーブルの編集方法については、「4.8.1 TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する」(P.92)を参照してください。

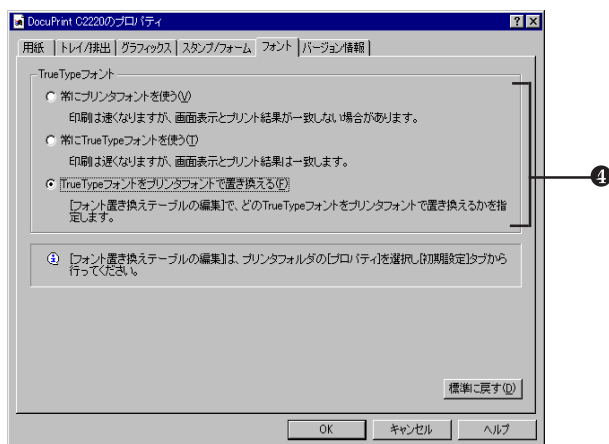
TrueTypeフォントの置き換えの指定は、[フォント]タブを表示して行います。ここでは、Windows® NTのワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

- ① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [フォント]タブをクリックします。
- ④ 設定する内容のラジオボタンをクリックします。

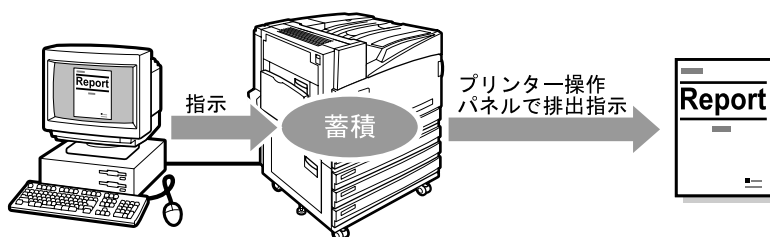


- ⑤ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.9

機密文書を印刷する (セキュリティープリント)

お使いのコンピューター上で、印刷データにセキュリティー(暗証番号を付ける)をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、プリンター側の操作で印刷を開始できます。この機能をセキュリティープリントといいます。また、セキュリティーをかけずに印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をクライアントから都度印刷指示することなく、本機側での指示だけで印刷させることもできます。



この機能は、内蔵増設ハードディスク装置が装着されている場合に使用できません。また、あらかじめユーザーIDと暗証番号を設定する必要があります。

補足

以下の3つの条件を満たすときは、セキュリティープリントの機能は使えません。

- プリントジョブを受け付けるポートとして、lpdだけが起動している。(インターネットサービスとsnmpは起動していても構わない。)
- [受け付けIPの制限]が[スル]に設定されている
- [操作パネル制限]が[スル]に設定されている

4.9.1 セキュリティープリントの登録をする

セキュリティープリント機能を使用するときのユーザーIDと暗証番号の指定方法を説明します。

操作手順

- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
- ② [初期設定]タブをクリックします。

- ③ [プリント機能]リストボックスから、[セキュリティープリントのユーザーID]を選択します。



- ④ [セキュリティープリントのユーザーID]に、半角英数字を使って8文字以内でユーザー名を指定します。
- ⑤ 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号]に、暗証番号を入力します。半角数字で4文字まで入力できます。
- ⑥ [OK]をクリックします。

4.9.2 セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。
まず、セキュリティープリントの設定をクライアント側で行ない、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

…クライアント側での操作

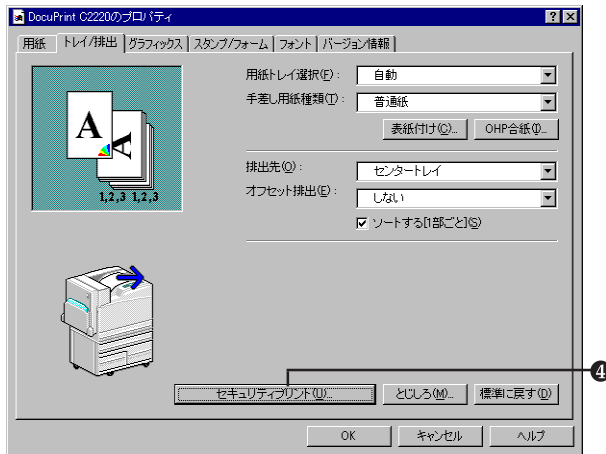
ここでは、Windows® NTのワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

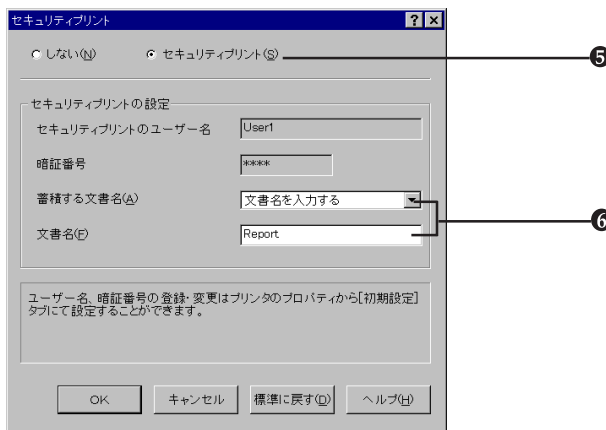
操作手順

- ① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [トレイ/排出]タブをクリックします。
- ④ [セキュリティープリント...]をクリックします。



[セキュリティープリント]ダイアログボックスが表示されます。

- ⑤ [セキュリティープリント]をクリックします。



- ⑥ [セキュリティプリントの設定]の[蓄積する文書名]から、[文書名を入力する] または [自動取得] を選択します。

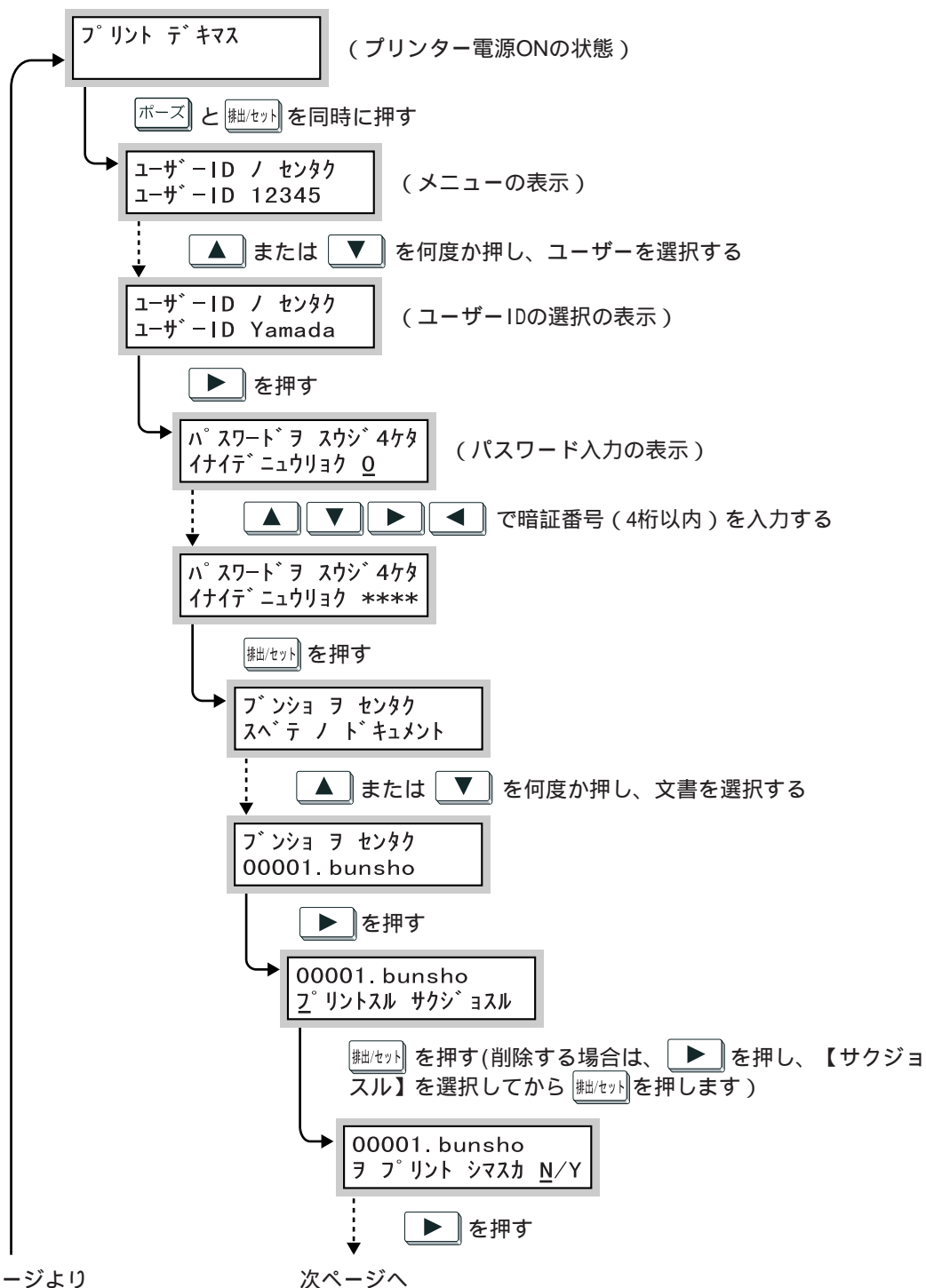
[文書名を入力する]を選択した場合は、[文書名]に文書の名前を、12バイト相当(半角で12文字、全角で6文字)で指定します。12バイトを超える文書名の場合は、12バイトまでが有効になります。12文字を超えた場合、または全角文字が使用された場合は、日時が文書名としてプリンターの操作パネルのディスプレイに表示されます。

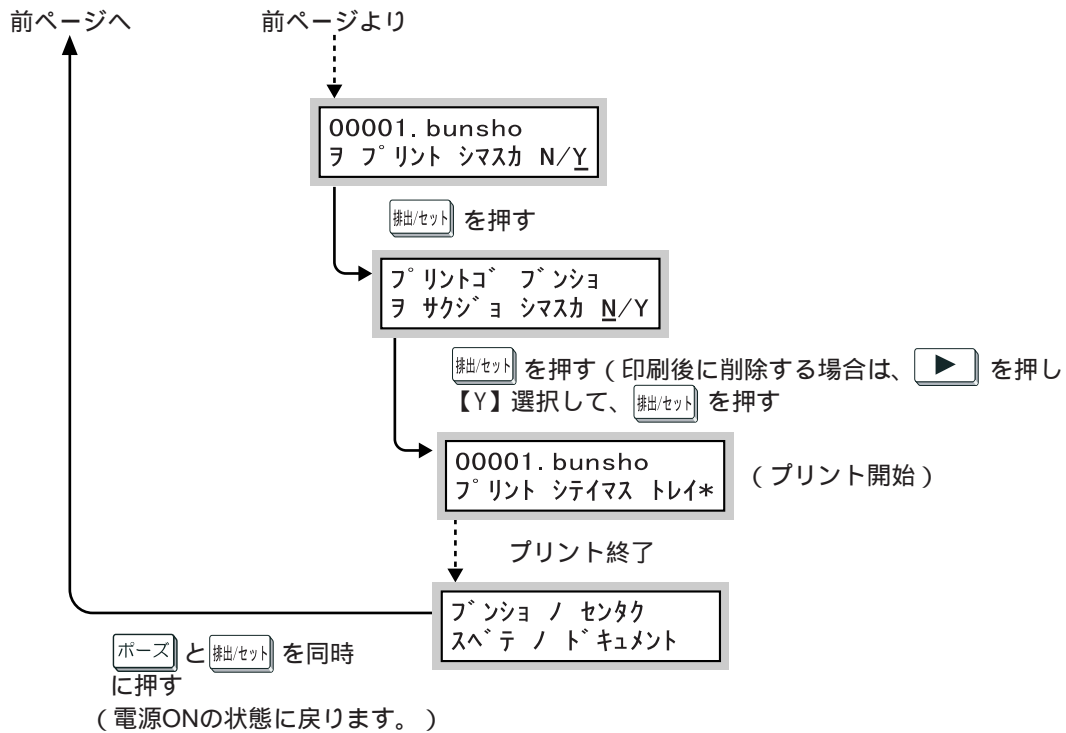
[自動取得]の場合、文書名は半角英数/半角カタカナで12文字までです。

- ⑦ [OK]をクリックします。
- ⑧ [トレイ排出]タブで[OK]をクリックし、印刷を実行します。

… プリンター側での操作

本機内に蓄積されている印刷データを排出する手順について説明します。



**補足**

- ユーザーIDは、ART EXプリンタードライバーの[初期設定]タブで設定した[セキュリティープリントのユーザー名]が表示されます(8文字まで)。
- パスワードは、ART EXプリンタードライバーの[初期設定]タブで設定したセキュリティープリントの[暗証番号]を入力します。[暗証番号]を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。
- ドキュメントの名前は、ART EXプリンタードライバーの[セキュリティープリント]ダイアログボックスの[蓄積する文書名]で設定した名前が表示されます(10文字まで)。

4.10 印刷モードを設定する

カラーで印刷する場合の詳細な設定をすることができます。

設定は、[グラフィックス]タブを表示して行います。ここでは、[グラフィックス]タブで設定できる画質などの印刷モードについて説明します。

●●● [印刷モード]について

[印刷モード]は、[標準] [速度優先] [画質優先]から選択します。

選 択 肢	内 容
速度優先	画質を落としても早く印刷したい場合に選択します。
画質優先	印刷処理時間が長くても、より高画質で印刷したい場合に選択します。
標準	[画質優先]と[速度優先]の中間モードです。

補足

[印刷モード]で[速度優先]にしても時間がかかる場合は、[ページ印刷モード]を[する]にして印刷をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。

●●● [画質調整モード]について

[画質調整モード]は、[おすすめ] [ICM調整(システム)] [CMS調整(アプリケーション)] [色変換しない]から選択します。

[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]リストボックスから、画質タイプを選択します。

[おすすめ]

弊社独自の方式で、画質調整を行います。

画質タイプは以下のとおりです。選択するときは、ART EXプリンタードライバー画面の左上に表示される画質イメージを参考にしてください。

選択できる項目は次のとおりです。

選 択 肢	内 容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書を印刷します。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。sRGBで表現される画像の印刷に適しています。
プレゼンテーション	色を鮮やかに調整して印刷します。プレゼンテーション資料に適しています。
Webページ	Webページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。

[ICM調整(システム)]

Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000のICM機能を使用して色変換を行います。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合にだけ表示されます。

[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]リストボックスから色の変換方式を選択します。

補足

本機用のICCプロファイルを使用するには、ICCプロファイルを、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合は「x(ドライブ名):¥Windowsシステムディレクトリ」¥color¥に、Windows NT®4.0の場合は「x(ドライブ名):¥Windowsインストールディレクトリ」¥にコピーします。

選択できる項目は次のとおりです。

選 択 肢	内 容
鮮やかさ(Saturation)	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト(Perceptual)	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック(Colorimetric)	プリンターで再現可能な色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

[CMS調整(アプリケーション)]

プリンタードライバーは色変換しません。独自のCMS(カラーマネージメントシステム)を持つアプリケーションから印刷する場合は、プリンターの特性に合わせて色変換された色データをプリンタードライバーに指示します。この場合、プリンタードライバーで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

補足

印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、[グラフィックス]タブの[詳細設定...]をクリックし、[詳細設定]タブの[解像度]で、[標準(600dpi)] [レイアウト再現(300dpi)] [細線再現(200dpi)]から選択します。本機の解像度は600dpiですが、[レイアウト再現(300dpi)] または [細線再現(200dpi)]を選択すると、600dpiで正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または200dpiとして通知できます。[レイアウト再現(300dpi)] または [細線再現(200dpi)]を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンターにダウンロードする場合にドットが粗くなる場合があります。

操作手順

- ① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [グラフィックス]タブをクリックします。
- ④ [カラーモード]から、[自動(カラー/白黒)]を選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。



- ⑤ [印刷モード]から、[速度優先]、[標準]、[画質優先]のどれかを選択します。
- ⑥ [画質調整モード]から、モードを選択します。
変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。
- ⑦ [画質調整モード]で[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]から、画質タイプを選択します。[ICM調整(システム)]を選択した場合は、[インテント]から、色の変換方式を選択します。
[おすすめ画質タイプ]の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

補足

[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合にだけ表示されます。

- ⑧ [OK]をクリックし、印刷を実行します。

4.11 画質を調整して印刷する

画質について詳細な設定をして印刷できます。

設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには4つのタブがあります。それぞれのタブで設定できる項目は次のとおりです。

タブ名	内容
画質調整タブ	明度/彩度/コントラストを原稿全体、または文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランスタブ	ブラック/シアン/マゼンタ/イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定タブ	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた、色温度/ガンマ指定の設定や、ICCプロファイルの指定ができます。
詳細設定タブ	文字、図/表/グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

4.11.1 明度/彩度/コントラストを調整する

明度/彩度/コントラストは、原稿全体、または[文字][図/表/グラフ][写真]の原稿要素ごとに調整できます。

明度/彩度/コントラストは、それぞれ - 100 ~ 100の範囲で、1刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項目名	内容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化が急です。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。

調整は、[画質調整]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、明度/彩度/コントラストは調整できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合に表示されます。
- [グラフィックス]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合は、彩度は調整できません。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

- ① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。
- ③ [グラフィックス]タブをクリックし、[画質調整...]をクリックします。
グラフィックスプロパティが開き、[画質調整]タブが表示されます。



- ④ [原稿全体を設定する] または [原稿要素ごとに設定する] をクリックします。
- ⑤ [原稿要素ごとに設定する] を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択します。
- ⑥ 明度/彩度/コントラストを調整します。
キー入力、またはスライダーで、-100~100の範囲で、1刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。
- ⑦ [OK] をクリックします。

4.11.2 カラーバランスを調整する

CMYK(シアン/マゼンタ/イエロー/ブラック)のトナー濃度を調整して印刷できます。各色とも低濃度/中濃度/高濃度に対して、それぞれ -3 ~ +3 の範囲で、7段階の調整ができます。

参照

階調補正については、「6.5 階調を補正する (P.172)」を参照してください。

調整は、[カラーバランス] タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- [グラフィックス] タブの [カラーモード] が [白黒] の場合は、ブラックだけ調整できます。

操作手順

- ① [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
- ② [プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。
- ③ [グラフィックス] タブをクリックし、[カラーバランス...] をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、[カラーバランス] タブが表示されます。



- ④ [カラーバランスを調整する] チェックボックスをオンにします。
- ⑤ 右のリストボックスから、調整する色を選択します。

⑥ 濃度を調整します。

低濃度/中濃度/高濃度のグラフの下の ボタンで、-3~+3の範囲で、7段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。

⑦ [OK]をクリックします。

4.11.3 デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス(モニター、スキャナーなど)の特性に合わせた補正を行って印刷できます。

補正方法には[色温度/ガンマ指定]と、[ICCプロファイル指定]があります。

[色温度/ガンマ指定]は、すべての原稿要素に適用する[色温度]と[ガンマ補正]が指定できます。

項目名	内容
色温度	使用しているモニターの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニターの特性に最も近いものを選択してください。 [5000K(D50)] [6500K(D65)] [9300K] から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。 [1.0] [1.4] [1.8] [2.2] [2.6] から選択できます。

[ICCプロファイル指定]は、[モニター]と[入力画像]に対してICCプロファイルを指定できます。ICCプロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できるICCプロファイルは、モニターとRGBスキャナーのものに限ります。

項目名	内容
モニター	文字、図、表、グラフに適応するICCプロファイルを指定します。[しない] または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニターのICCプロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応するICCプロファイルを指定します。[しない] [モニターと同じ] 「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力したRGBスキャナーのICCプロファイルを選択します。

補足

「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前にICCプロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

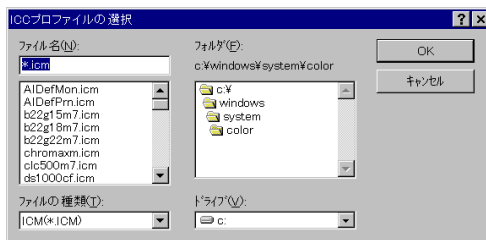
また、[モニター] [入力画像]ともに、ICCプロファイルを任意のフォルダーから読み込むことができます。[ICCプロファイルの選択]ダイアログボックスでは、ICCプロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角128文字です。
[ICCプロファイルの選択]ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリは、次のとおりです。

Windows® 95/98/Me/2000 : x:¥[Windowsシステムディレクトリ]¥color¥
Windows NT® 4.0 : x:¥[Windowsインストールディレクトリ]

補足

「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

Windows® 95の例を示します。



調整は、[プロファイル指定]タブを表示して行います。

ここでは、Windows® 95のワードパッドを例に説明します。その他のOSでの手順も同様です。

補足

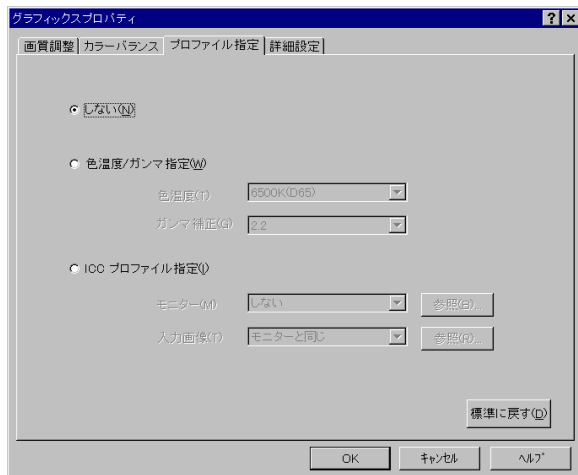
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM調整(システム)]、または[CMS調整(アプリケーション)]の場合は、補正できません。[ICM調整(システム)]は、Windows® 98、Windows® Me、Windows® 2000の場合に表示されます。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

- ① [ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。
- ② [プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。

- ③ [グラフィックス] タブをクリックし、[プロファイル指定] をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、[プロファイル指定] タブが表示されます。



- ④ [色温度/ガンマ指定] または [ICCプロファイル指定] をクリックして、補正方法を選択します。
- ⑤ 選択した補正方法の詳細を指定します。
- ⑥ [OK] をクリックします。